

・景気の現状に対する判断理由等

景気の現状に対する判断の理由及びそれに対する追加説明等について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

1. 北海道（地域別調査機関：（株）北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている			
	やや良く なっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・例年4月は気温の影響が大きく、売上が安定しない時期だが、今年は春物のトレンドがはっきりとしているため、客の反応が良い。また気温が低ければ低いで、春物のコートなど単価の高いものを求める客がいることから、売上は良い方向に進んでいる。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・例年に比べて、5月の母の日やゴールデンウィークのトラベルグッズ等の販売量が多い。直前ではなく、少し前に買うという余裕を持った買い方が非常に目立つ。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・4月は平年を下回る寒い日が続いたため、主力アイテムであるジャケットが伸び悩んだ。その一方で、絶対額こそ小さいものの、婦人コートの売上が大幅に増加するなど、前年を上回るアイテムも複数出てきている。客のファッションに費やす支出はわずかではあるが増加傾向にある。またスーパーブランドなど高額品は恒常的に前年並みの売上を確保している。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・北海道全店での上は前年比で3.6%の増加となっており、前月との比較でも2.1%の増加となっている。部門別では、衣料品が前年比112.6%、住居用品が前年比110.6%、食品が前年比102.4%、専門店が前年比97.0%となっており、専門店を除き順調に推移している。衣料品では紳士衣料、婦人衣料、服飾雑貨が、住居用品では家電、日用雑貨が、食品では畜産、水産が好調に推移している。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・創業祭がらみの大きな売出しと入進学需要に支えられ、販売量は3か月前と比較して128%の伸びとなっている。
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・ゴールデンウィーク前の時期だが、ランチが好調であり、先月に引き続き売上が前年を大きく上回った。滞在型の観光客が何度か来店し、顔見知りとなることもあった。
		観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・例年4月はオフシーズンの中でも最低の月だが、今年は本州からの団体旅行がまずまずで、道内の個人客もそれなりに入ってきている。ここ数年にはなかった地元客の動きもみえてきている。ただ、宿泊費やその他の消費の伸びは今一つである。
		観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・大手企業のセミナーや大手企業が営業成績の優秀な代理店等を招待する褒賞旅行など、本州方面からの団体の宿泊が増えてきた。
		旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・来店客が増えている。
		通信会社（企画担当）	お客様の様子	・通信を利用したいいろいろなアイデアが欲しいという客からの要望が、以前にも増して多くなっている。
		観光名所（役員）	来客数の動き	・ロープウェイ輸送人員が前年を上回って推移している。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・客の来店頻度が高くなってきており、その結果、半年単位でみた客1人当たりの単価が平均5%程度上昇している。
		設計事務所（所長）	競争相手の様子	・遅い春とともにようやく物件が動き出している。ただし、順調に忙しいところと全く仕事が無いところにはっきり分かれている。今までのように業界全体が良い、悪いという傾向はない。
	変わらない	商店街（代表者）	お客様の様子	・天候が安定しなかったことに加えて、後半は他地域の大型店がリニューアルしたことから、商店街の集客が鈍化し、衣料品関係が伸び悩んだ。大型店では季節的需要である入学・卒業、就職などのギフトの売上が鈍化した。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		商店街（代表者）	単価の動き	・商店街の化粧品店では客が低単価商品をサポートする傾向が強く、単価上昇は期待できない。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・少しずつ暖かくなってきて季節商品に動きが出ている。しかし全般的に客の様子はまだまだ慎重である。
		商店街（代表者）	単価の動き	・転勤や入学等で年度初めはお金が掛かる月だが、買物に対する客の様子はかたくななままである。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・気温が不安定であるため、客足の良い時と悪い時の差が非常に大きくなっている。
		百貨店（売場主任）	販売量の動き	・上旬はかなり寒い日が続き、雪も3度ほど降っており、その影響で春物の動きが厳しかった。
		スーパー（企画担当）	単価の動き	・気温の低い日が続いており、春物商材や行楽商材の動きが鈍い。生鮮食品、加工食品ともに価格低下が続いており、既存店の売上がなかなか上がらない。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・特売品の販売数の増加により、消費者が安い商品のみを購入する傾向が強くなっている。
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・今年の4月は大変寒く、天候に恵まれなかったことで、来客数がとても悪かった。
		家電量販店（店員）	単価の動き	・前年と比べて買上客数が減っているが、平均単価が上昇している。
		家電量販店（地区統括部長）	単価の動き	・6月から始まる地上デジタル放送の前倒し需要が4月から急上昇すると予想していたが、思ったほど売上が伸びていない。
		その他専門店〔医薬品〕（経営者）	来客数の動き	・大型スーパーが軒並み開店しており、買上客数の確保がますます厳しくなっている。
		高級レストラン（スタッフ）	お客様の様子	・3月の景気回復傾向もつかの間で、今月はまた前年並みに戻ってしまった。ランチは天候不順の影響でビジネスマンの外出が減り、前年並みであった。ディナーは大型連休前であるため、前年売上の83%と激減しており、特に個人の来客数が前年比53%と大きく減少した。個室は学校関係者の利用が堅調で前年を上回った。観光客は全体で前年をやや下回っているが、特に道内客が減少しており、実感として前年から3～4割減少していると感じている。
		一般レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・先月に引き続きランチタイムの来客数が落ち込んでいるが、ディナータイムの来客数が増えており、トータルの売上は前年並みであった。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・4月に入ってから景気が上向きになることもなく、来客数が増えることもなかった。旭川は観光が良くなっているが、この時期はまだ厳しい。
		観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・宿泊客数は前年と比べて数パーセントの減少となっているが、戦略的な要素も多少影響していることから、やや弱含みでの推移という感じである。
		観光型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・宿泊人数、総消費単価とも前年並みで推移している。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・ゴールデンウィークの受注が前年の80%と低調である。旅行会社を利用しないレジャーや客の直接手配が増えている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・景気回復の兆しを報じられているが、タクシー利用客の増加にはつながっていない。
		その他レジャー施設（職員）	来客数の動き	・地元球団の客員動員数が平日で13,000～14,000人と安定してきている。
		設計事務所（職員）	それ以外	・大手建設業界の不祥事に基づく営業停止や指名停止が続出している。また独占禁止法改正の影響で低価格での受注も多くなり、下請を含めた建設関係者の景気低迷に拍車がかかっている。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・建築面で少額物件の動きは上昇傾向にあるようだが、住宅販売については相変わらず低迷が続いている。
	やや悪くなっている	一般小売店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・今月は天候不順で非常に寒い日が続いたこともあり、飲食店への客の入り込みが良くなく、当店の売上にも悪い影響を与えている。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・今までになく買上客数が落ち込んでいる。自社、競合各社ともチラシの回数が増して強化されており、流動客の分散が見受けられる。また気温も上らず春物、初夏物の動きが活発化してこない。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・客単価も低下傾向にあるが、買上客数の減少による影響が大きくなってきている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・低温による農業の遅れや、ガソリンの高騰で消費が低迷している。特に週末の売上が悪く、パンや飲料水など、春に販売数が増加する商品の動きが悪い。
		家電量販店（経営者）	お客様の様子	・客の買い控え傾向が強く、業種に関係なく前年の売上を下回っているところが多い。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・台替えが進まず、高額な修理をするようになった人が多くなった。公務員の給料の削減が響いている。
		スナック（経営者）	単価の動き	・飲み放題の客が多く、客一人当たりの売上単価が下がってきている。
		旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・ゴールデンウィークの日並みの影響もあるが、4月の道内旅行件数、旅行人員はともに前年比70%台で大不振である。5月はその分をカバーしているが、6月の申込状況も悪い。
		タクシー運転手	来客数の動き	・今年は天候不順の影響もあり、昨年に比べて利用客が大きく減少している。また4月は年度始めの入社・入学シーズンでもあり、歓迎会などが行われる時期でもあるが、最近はそのような機会が減っているせいか、夜のタクシー利用が極端に減少している。
	悪くなっている	コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・買上客数は前年並みであるが、ビールなどの売行きが悪い。例年よりも気温が低いため、農作業も遅れており、ケース入りの缶コーヒーなど、農作業向けの飲料水の需要も低迷している。
企業動向関連	良く なっている	-	-	-
		やや良く なっている	出版・印刷・同関連産業（経営者）	受注量や販売量の動き
		輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・道外向けの建築物件や鉄骨・コンクリート製品等の建築物件は相変わらず堅調に推移しており、道内のマンション等も札幌を中心に数量を伸ばしてきた。
		通信業（営業担当）	取引先の様子	・多少の季節要因もあるが、商品の在庫の回転が速く、サービス業においては好調との話を聞く機会が増えた。
		その他非製造業 [機械卸売] (従業員)	取引先の様子	・一部の金属製品製造業を除き前四半期の停滞感は薄れ、06年度上期も05年度上期並みの仕事量を確保できる見通しである。しかし、良くなっているとはいえ、北海道全体が好況に転じているほどの受注があるわけではない。
	変わらない	食料品製造業（団体役員）	それ以外	・原油価格高騰の影響で燃料の値上げが2度もあり、食料品や日用品、生産資材等多方面にわたり、値上がりが生じている。また天候不順や雪解けの遅れから、一次生産者の景況感が悪くなっている。反面、本州資本による不動産取得やホテル等の建設に動きがみられ、地域格差が拡大している。
		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・当初、4月から取引先の出荷数量が増加する予定となっていたが、需要の低迷から計画出荷数量の見直しがあり、当地からの出荷増分が本州工場に振り分けられることになり、スタートからつまづいた。
		金融業（企画担当）	それ以外	・設備投資は大手製造業の工場建設が呼び水となって、地場企業にも能力増強投資などが目に付くようになった。個人消費は消費者の節約志向が強いほか、天候不順なども影響して、弱めの動きが続いている。住宅投資は分譲マンション建設の着工が一巡しており、耐震偽装問題の影響で売行きも伸び悩んでいる。公共投資は減少傾向にあり建設業界は厳しい。
		司法書士	取引先の様子	・不動産の売買取引、個人住宅物件の新築が依然として低水準で推移している。
		その他サービス業 [建設機械リース] (営業担当)	受注価格や販売価格の動き	・少ないパイの中での競争激化が相変わらず続いている。
その他サービス業 [建設機械リース] (支店長)		取引先の様子	・保有物件の稼働が見込まれないため、月々の支払が重荷となり、総合リース契約中の物件を解約して転売を図った例が数件ある。	
やや悪くなっている		金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・農業政策が変化している影響から、製造している農業機械製品の動きがあまり芳しくない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		輸送業（経営者）	取引先の様子	・燃料高騰の影響から、輸送関係は経営が相当ひっ迫している。原油価格が70ドルを超える状況続くようであれば、会社の存続にまでかわる。
	悪くなっている	-	-	-
雇用関連	良くなっている			
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	雇用形態の様子	・少しずつではあるが、正社員の中途採用のニーズが高まっている。特に営業マンの求人が目立つ。人材派遣では、一般職の派遣ニーズに加えて、売上、利益につながる販売職のニーズが依然として高い。新入学、就職の時期であることから、カード会社の新規加入促進業務への派遣ニーズも高い。
		求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・4月に入ってから、居酒屋などの飲食店、ファッション系の小売店の求人が増加した。これらの業種を始め、コンビニ、その他でも求人広告の連続掲載の傾向が強まってきている。多くの業種でパート・アルバイトの求人難傾向が高まっている。
		求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・求人数が、一般商店や飲食店でもようやく増加してきた。建設業に動きが出るとともに、運輸・物流関係も増加している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は増加しており、月間有効求職者数は微減で推移している。月間有効求人倍率は0.53倍となり、前年を0.07ポイント上回った。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求職者数が20%ほど減少し、新規求人数が80%ほど増加している。
		学校〔大学〕（就職担当）	採用者数の動き	・平成17年度の学生は複数の企業から内定を獲得していたが、企業と学生とのミスマッチから、内定辞退した学生が多かった。一方で、企業は二次募集、年間採用などとして採用枠を追加で増加させ、3月まで採用活動を行っている。今年度も4月に入り、既に内定がどんどん出ており、学生にとっては売手市場となっている。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・求人、求職者ともに動きはあるが、時期的なものであり、全体としては変わらない。
		求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・十勝管外の求人件数を除いた地域のみでの求人広告件数は横ばい傾向にある。春の本格的農作業の開始と合わせた求人増への期待感はあるが、未知数である。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・大手電器メーカーの子会社において部品製造工場の増設が決まり、数少ない朗報となったが、依然として土建業の廃業や統合が相次いでいる。中心部の空洞化対策もいろいろ案が出ているが極めて難しい課題である。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年に比べて10.2%減少したが、新規求職者も7.8%減少しており、有効求人倍率は0.55倍と前年を0.02ポイント上回った。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数が前年比で減少しており、有効求人倍率が0.4倍台となった。
	やや悪くなっている			
	悪くなっている	-	-	-

2. 東北（地域別調査機関：（財）東北開発研究センター）

（-：回答が存在しない、_：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連	良くなっている			
	やや良くなっている	一般小売店〔カメラ〕（店長）	来客数の動き	・来客数の増加もあり、写真関係の売上は前年を上回っている。ハードは、人気商品の入荷状態が良くないので停滞している。
		百貨店（広報担当）	お客様の様子	・月の最高気温の平均が前年に比べ3、4度低く、婦人服が苦戦し前年を下回るものの、特選ブティックが依然好調である。また催事の効果で、子供服、食品が目標予算を達成している。その結果、全社で前年実績をクリアした。店頭だけでみれば、7か月連続で前年実績を上回っている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・男女問わず、春物の動きが良い。また、節句の人形など歳時期商材も良好である。支出に対する抵抗感は薄れてきている。
		百貨店（経営者）	お客様の様子	・何か気に入ったものがないかなど、客が何かを求めようとしていることが感じられる。その何かを提示できれば、価格にかかわらず購入することが顕著になってきている。問題はそれを企画して用意できるかである。
		衣料品専門店（店長）	単価の動き	・ゴールデンウィークに向けて、カジュアル服のコーディネート商品の客単価アップがあり、景気が上向きになっている。
		乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・4月の見込み客が新型の小型車の販売が好調なため3月に流れてしまった結果、再度仕切り直しとなっている。しかし、思った以上に受注が多くなっている。
		その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	販売量の動き	・1月、2月は雪のために人の動きもなかなかなかったが、3月、4月はやっと動き出した。先送りになった分、今の時期は良くなっている。
		高級レストラン（支配人）	来客数の動き	・宿泊、レストランの利用数が目立って増えているが、客単価が伸び悩んでいる。
		一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・競合への差別化を意識した価値観がある、単価の高い商品の販売量が顕著に伸びている。
		一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・前年よりも売上が良かった。例年ならば、花見と重なり来客数が減少するが、今年は寒かったせいか順調に売上を伸ばせた。
		都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・宿泊については、首都圏から来る客が多いこともあり、利用客が増えている。料飲施設についても、二次会の流れ、週末の来客数の増加をみるとやや良くなっている。
		旅行代理店（従業員）	単価の動き	・ゴールデンウィーク期間中の海外旅行の申込が、前年よりも増えた。国内のゴールデンウィークの宿泊は、ここ2、3年は混んでいる時期でも何とか予約が取れていたが、今年は本当に取れない日が出てきている。しかし、このように一部では景気が良いようであるが、一方で厳しいところもあるようである。
		タクシー運転手	来客数の動き	・少し乗客が増えている。特に夜の乗客が増えている。
		住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・顧客の動きがとても良く、年内入居希望者がとても多く、受注にもつながっている。
	変わらない	一般小売店〔スポーツ用品〕（経営者）	来客数の動き	・春先は新学期でもあり、通常であれば街にも活気があるのだが、日曜日も閑散としているし、来客数が減少している。
		百貨店（企画担当）	それ以外	・4月に入った途端に低温で、今売らなければならない春物衣料が非常に不調であった。
		百貨店（売場担当）	お客様の様子	・今月は気温が不安定なこともあり、今着れる物を慎重に購入する客が多かった。また、おしゃれ着兼仕事着として活用できるアイテムの需要が増えている
		百貨店（販促担当）	お客様の様子	・月前半は、気温が上がらず、春から初夏物の動きが非常に鈍かった。特に、婦人、紳士服全体や、身の回り品が厳しかった。特選ラグジュアリー関係は引き続き好調に推移し、若干であるがこの部門は上向き傾向である。
		百貨店（経営者）	お客様の様子	・物産展などの大きな企画を実施した時の客の反応は良いが、春物から初夏物への切替え時期としては、気温が低いため、来客数、買上客数が少なく、月平均の前年比は3か月前とほとんど変わらない。
		スーパー（経営者）	来客数の動き	・マクロ的には非常に良い状況が聞かれるが、食品については、一品単価の上昇もなく、非常に厳しい。競争も激しく、価格の上昇が抑えられており、客の消費動向もガソリン等の値上げとあいまって、なかなか盛り上がっていない。
		スーパー（店長）	単価の動き	・既存店前期比で、客単価が99%と前年を割っている。依然として、買上点数の前年割れが続いているが、一品単価は3か月連続で前年並みまで回復してきた。競合各社のディスカウント価格も底値になってきた。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		スーパー（店長）	販売量の動き	・一時的に第3のピールの増税で駆け込み需要があり、酒類については、前年の売上を大きくクリアした。しかし、天候の影響で果物の需要と供給が1か月ほどずれ込んでおり、落ち込みが大きい。
		スーパー（企画担当）	来客数の動き	・2月以降競合出店が増加しており、確実に来客数が減少している。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・気温が低かったこともあり、大きな売上を占めるドリンク類、アイスクリーム類が大きく前年を割っている。主力商品である米飯も前年90%程の推移で売上が悪い状況である。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・4月は例年に比べ、気温が低く、観光客も天気に左右されて少なかった。
		衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・今月は、天候、気温によって、日々良し悪しが左右されているが、平均的に単価が上がり、来客数は前年を下回るといった状況がここ数か月続いている。
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・客単価は非常に良くなっているが、春物の動きは天候不順の影響を受けており、特にジャケットを求める客が減少し苦戦している。
		衣料品専門店（店長）	単価の動き	・来客数が増え、買上点数も伸びてきているが、商品単価が伸び悩んでいる。
		衣料品専門店（総務担当）	お客様の様子	・新入学、進学などで学校用品が買い求める時期であるが、客の動きをみると客単価、数量ともに大きな伸びはない。
		家電量販店（従業員）	販売量の動き	・思ったほど春需要が少なかった。オリンピック関連や、サッカーワールドカップに向けた目立った動きはない。
		住関連専門店（経営者）	単価の動き	・客によって所得格差があるのかもしれないが、高い物を求める客と、どうしても必要に迫られて安い物しか買えないという客とで二極化している。
		その他専門店〔靴〕（経営者）	販売量の動き	・今年は春物の動きが3月から活発で、その反動が4月に来ている。春物全体の売上は毎年徐々に落ち込んできている。
		その他専門店〔酒〕（営業担当）	販売量の動き	・今月は酒税法の改正があり、清酒関係は動きが非常に悪いと予想されたが、関係者による対応がなされ、予想ほどの悪さではなかった。流通や販売がスムーズに動いていない。
		一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・値下げを実施したところ来客数がどっと増えた。客は、単価を下げると来る層と単価が高い高付加価値の商品を求めて来る層とに二極化している。
		その他飲食〔弁当〕（スタッフ）	販売量の動き	・市内は3か月前から景気が悪い。いろいろなマンションができてきているが、当店の売上は厳しく、土日も人が集まらない。
		観光型ホテル（経営者）	販売量の動き	・4月は、来客数は前年比3%減、売上は8%増となった。特に館内での飲食、宴会、消費が好調であった。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・原油の高騰でかなり消費が低迷している。販売量もかなり減少している。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・現時点での客との商談から設備投資への手控え感があり、報道にあるような首都圏大企業の好況感は全く感じられず、地方までの広がりを感じられない。
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・今年の2月も落ち込みが大きかったが、今月は全く来客がない日が多く、今までにない売上の減少で、悪くなっているのが強く感じられる。
		商店街（代表者）	競争相手の様子	・季節天候要因を勘案しても、4月は消費マインドが低下している。一時的なもので終われば良いが、飲食、物販ともに徐々に不振であった。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	来客数の動き	・4月になっても寒さが続き、桜の開花も遅れ、花見客が繁華街に流れてこない。
		百貨店（売場主任）	販売量の動き	・雪解けが前年よりも早かったが、今月は気温が上がらず寒い日が続いたため、前年よりも来客数が少なく、初夏物衣料に全く動きがみられない状況である。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・催物が実施される時は良いが、その前後は客が買い渋り傾向にある。以前は夜も忙しかったが、急に暇になることが、以前と比べて目立つようになった。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新年度の4月に入ってから、軽自動車は堅調に推移しているものの、登録車は3月の反落が10%近く落ち込んでいる。緩やかな景気回復は、いまだ自動車の販売まで至っていない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新型車効果も3月までである。4月に入ってから新車の受注が大きく落ち込んでいる。
		その他専門店 [ガソリンスタンド]（営業担当）	単価の動き	・原油高の影響があり、価格も不安定で、客は動揺している。業者としても大変困惑している。
		高級レストラン（経営者）	お客様の様子	・単価も上がらず、来客数も増えていない。魚を仕入れる市場でも他の飲食店や魚屋で同じ声が聞かれる。
		都市型ホテル（スタッフ）	競争相手の様子	・中堅ビジネスホテルが高齢者向けマンションに衣替えし、新規進出ホテルも控え、過当競争はますます激しくなる。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・今月の入場者数は、前年比の80%である。4月初めまで雪が降り、道路状況も悪く入場者数が伸びなかった。
		遊園地（経営者）	来客数の動き	・低温や週末の天候不順が影響したことと学校団体がこれまで以上に遅れたことから、前年比1割減と低迷している。
		悪くなっている	コンビニ（経営者）	来客数の動き
企業動向関連	良く なっている	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・景気の好調さも関係しているが、住宅の水まわり部分の浴室、台所、トイレの改修が増えている。
		食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・4月から製品の価格を12～20%値上げした。販売数は落ちたが売上は前年より増加している。新製品を同時に発売しその分の売上でどうにか全体でも売上増である。
	やや良く なっている	輸送業（従業員）	取引先の様子	・各業者によって差はあるが、製品輸出が多くなってきている。輸入は衣類が好調である。
		通信業（営業担当）	取引先の様子	・新年度に入り営業提案に興味を示してくれる企業が比較的多い。受注までは不透明ではあるが、ある程度は期待が持てる。
		金融業（営業担当）	取引先の様子	・資金需要が前年比3%以上の増加基調にあり、今後も同程度の推移が見込まれる。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・中小工務店では住宅着工の増加とともに、利益を伴う売上が伸びつつある。
		その他企業 [管理業]（従業員）	受注量や販売量の動き	・今月は、工場がフル操業で生産が追いつかない状況である。
		変わらない	食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き
	木材木製品製造業（経営者）		受注価格や販売価格の動き	・住宅部材の値上げによる採算の改善を行おうとしているが、値上げ交渉がなかなか進まず、収益改善が不十分である。
	一般機械器具製造業（経理担当）		受注量や販売量の動き	・自動車部品については、引き続き好調で、売上、利益ともに高水準を維持している。
	輸送業（経営者）		取引先の様子	・軽油の高騰に歯止めがかからず、貨物運送業としては経営が厳しい。
	広告代理店（従業員）		受注価格や販売価格の動き	・案件数は増加しているものの、受注価格は相変わらず低い。期待値ほどの動きがない。
	やや悪くなっている		繊維工業（総務担当）	取引先の様子
		電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・年度の初めは、どうしても絶対量のある仕事が少ない状況である。新製品の引き合いが出てきているのであまり悲観はしていないが、今後ますます短納期要求がでてくる。残業等で対応することも効率が悪く、利幅がなくなってきている。
電気機械器具製造業（企画担当）		競争相手の様子	・全体の好景気の影に隠れた形で、中小企業の景気は厳しいとの競合他社の声が多い。	
新聞販売店 [広告]（店主）		受注量や販売量の動き	・新聞購読を収入減、リストラ等の理由でストップしている所が多い。購読料の支払にも苦慮している所が多く、当店でも回収に苦労している。折り込みチラシについても、横ばいからやや減、前年同期と比べても、増えていない。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	悪く なっている			
雇用 関連	良く なっている	人材派遣会社 (社員)	雇用形態の様子	・4月から製造業務請負が新規で開始し、通信大手企業からのまとまった注文や産休、育休代替の依頼等もあり、年度初めから良くなっている。
		人材派遣会社 (社員)	周辺企業の様子	・郊外にある大手の工場での積極採用が目立ち、雇用が拡大している。しかし、一方で現地での優秀な人材不足もあり、先方の希望スキルをカバーしきれず試験的採用が多いのも現状である。
	やや良く なっている	人材派遣会社 (社員)	求職者数の動き	・登録希望者が少なくなっている。特に若年層(20代)が顕著である。各企業の直接採用が活発なためである。
人材派遣会社 (社員)		求人数の動き	・中途採用をする企業が増えている。その内容も単なる欠員補充ではなく、ラインの増強に伴うスタッフの増員や業務拡大による営業の増員となっている。	
人材派遣会社 (社員)		それ以外	・具体的な求人は表立っていないが、中小以外の企業や工場などでは技術者やバイリンガルなどの優良な人材を近隣県外にも広く求めており採用(中途採用も含む)を行っている。景気上昇を想定した人材の青田刈りとも言えるこの動きが、採用にかかるコストを急激に押し上げている。中小との温度差が歴然としてきている。	
職業安定所(職員)		求職者数の動き	・より良い条件を求めて転職を希望する在職求職者が増加傾向にある。周辺の状況から、求職者がチャンスととらえているようである。	
	変わらない	職業安定所(職員)	雇用形態の様子	・求人数は、常用で4.1%増加、パートは20%減少し、その結果4.6%の減少となった。常用は8か月連続増加し、パートの減少は4か月続いている。パートは減少しているものの、フルタイム常用求人は着実に増加している。一方、求職者は3か月連続で増加しているが、在職者が19.8%増加しており、求人数の増加とともに、より条件の良い会社への転職希望者が増加している。
職業安定所(職員)		求人数の動き	・新規求人は前年比5%程度増加しているが、正社員の求人の割合が減少しており、3月は34.4%と新規求人全体の4割を下回っており、求人内容に問題がある。	
	やや悪く なっている	新聞社[求人広告](担当者)	求人数の動き	・求人全体の動きは、割と上向きになりつつあり、新卒関係は好調な動きを示している。企業間格差があり、出先系企業は良くなりつつあるが、地元企業の採用が減っており、その格差が広がっている。

3. 北関東(地域別調査機関:(財)日本経済研究所)

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	スーパー(統 括)	来客数の動き	・3月に引き続き、売上は数年ぶりの好成績となっている。1点当たりの単価は落ちているが、買上点数が伸びていることから、客単価が下げ止まってきている。
		家電量販店(店 長)	単価の動き	・地上デジタル放送関連商品に象徴されるプラズマ、液晶の大画面薄型ディスプレイが好調である。
		通信会社(営業 担当)	競争相手の様子	・競合他社も含め、インターネットの加入数が伸びている。
	やや良く なっている	商店街(代表 者)	お客様の様子	・レジ周りの商品を衝動買いする客は少なくなったが、目的買いの客は単価を気にせずに買物している。
百貨店(売場主 任)		販売量の動き	・昨年に引き続きクールビズの展開を早め、トータル的な提案をすることで、おしゃれな男性の来店が非常に多くなっている。	
百貨店(販売促 進担当)		販売量の動き	・紳士衣料品の売上が3か月連続で前年を上回っている。	
衣料品専門店 (店長)		来客数の動き	・購買客数が前年比で20%伸びている。ただし、客単価が低いため、販売量は前年並みである。	
住関連専門店 (仕入担当)		単価の動き	・天候の影響で売上高は前年に比べ下がっているが、1品単価は継続的に上昇している。	
		一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・相変わらず会社関係の宴会は少ないものの、一般客による法事、グループでの会食など、客の動きを感じる。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
変わらない		都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・運動関係の学生など、団体客が増加している。自動車関連で下請等の関連企業の割合も増加してきている。連泊などで1人当たりの宿泊日数も増えている。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・例年と比べ、歓送迎会の需要が若干活況である。
		旅行代理店（支店長）	お客様の様子	・法人の旅行は少し上向きである。今月に入り、今まで旅行を計画しなかったところで今年は行こうかという動きも出ている。一方、業績の悪いところは旅行どころではなく、二極化が進んでいる。これは個人旅行についても同じで、旅行に行ける客は年2回、またはゴールデンウィークの料金が高い時でも行ける。しかし、行けない客は旅行どころではない。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・平日の動きが良く、2～3月と比べ来客数が約3%ずつ伸びている。
		ゴルフ場（副支配人）	来客数の動き	・来客数の動き、予約の取り込み、引き合いは結構活発である。
		ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・雪もなく、天候が良好だったこともあり、割安コースが周辺にあるにもかかわらず、予約は安定的に入っている。ゴールデンウィークの予約も前年並みに入っている。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・自動車関連産業に従事する人を中心に、現場見学会などへの来場者が増加している。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・桜前線は予報では例年より早いといわれていたが、実際は1週間遅れであった。観桜客は2割増えたが、桜の咲いている時期を逃したツアー客を中心に消費が伴わなかった。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・単価のことはあまり気にせず、良い物が変わった物が欲しいという人が多い。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・花の季節になってきたが、「花よりだんご」は花だけで終わり、財布は持って歩かないようである。
		一般小売店〔文具・事務機〕（経営者）	販売量の動き	・業種柄、例年3～4月は新学期の需要が多いが、ここ何年も昔日のような需要がなく、期待していたが今年も前年比5%減である。外商は若干プラスだが、地方経済の悪さに改善はみられない。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・天候が不順で衣料品、特に婦人服の売上が悪い。
		スーパー（統括）	販売量の動き	・フォーマルの春物は好調に推移しているが、トレーナー、ブルゾンなどのカジュアル衣料は点数、単価共に苦戦している。食品では健康指向の新製品がけん引役となり、基礎調味料等の不振をカバーするまでになりつつある。消費者の健康志向は一層顕著になってきているものの、全体としては横ばい傾向である。
		衣料品専門店（販売担当）	お客様の様子	・3か月前と比べ、下見や試着など、客の買物に対する態度や動きが幾分上向いてきているが、まだ実売までは至っていない。
		乗用車販売店（販売担当）	お客様の様子	・ある程度広告宣伝費をかければ車が売れるという状況は変わっていない。今年に入ってから毎月同じように広告を出して、車を買いたい人、買う客だけが確実に来店してきている。販売台数はここ4か月変わっていない。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・宴会の動きがやや低調で、フリーの客もかなり少なく、あまり良くない。今年は寒くて桜がなかなか散らなかったので、花見に客を取られたのではないかと考えている。フリーの客があまり多くないのは、このところずっと続いている傾向である。
		スナック（経営者）	お客様の様子	・団体の来店が少なくなっている。元気のいい会社とそうでないところの差がはっきりしてきている。
		観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・冬季シーズンが終了し、例年伸び悩む時期でもあるが、今年は中旬の入込がかなり悪かった。月の後半、外国人団体客の入込が予想以上に伸び、何とか例年並みとなったが、決して景気が良いとはいえない。
		旅行代理店（副支店長）	単価の動き	・インターネット等の中抜き商売が多く出てきているため、特にその関係の企業は単価を安くしなくてはならなくなっている。
観光名所（職員）	お客様の様子	・例年に比べて雪解けが早く、暖かいことから、客の入込状況は例年より多くなっている。レストラン、ホテル関係の売上は、一部の人気店を除き、例年並みである。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		美容室（経営者）	販売量の動き	・美容業はパーマ、カラーリングで単価を上げるが、単価の低いセット、カットの客数を増やすかである。4月は行事などで来客数は普段と同じであったが、深刻なパーマ離れで、売上はあまり増えていない。
		設計事務所（所長）	来客数の動き	・時が止まっているかのように、動きがない。一部ハウスメーカーからの図面トレースの仕事量は多くなっているが、直接依頼の客、工務店からの依頼がなく、仕事の確保ができない状況が続いている。
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・地方は東京とは違い、まだテナントの統合や撤収がいくつかあり、商店街の空洞化は相変わらず進んでいる状況で、景気が良くなったという実感は全然ない。不動産も安い物件は引き合いがあるが、普通の値段ではなかなか見てももらえない。
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・郊外の大型店に客を取られているのか、商店街の客足がかなり減っている。
		一般小売店〔衣料〕（経営者）	販売量の動き	・4月は学生用品の販売で忙しさはあったが、買い控えや枚数を減らすなどで、売上は前年比で10%以上落ちている。
		一般小売店〔青果〕（店長）	販売量の動き	・12月ごろの干し芋など、必要なものは高くても結構売れるが、マスクメロンのような2～3千円クラスの金額になると全く動かなくなってきている。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・春休みが終わったころ、一時良いような動きになったが、このところずっと売上、来客数、客単価が落ちている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新型車が発売になり4か月が経過したが、発売当初の販売台数を維持できず、徐々に減少している。
		その他専門店〔燃料〕（経営者）	単価の動き	・原油高騰による単価の値上がりで、販売量が落ち込んでいる。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・3～4月は歓送迎会が結構入ったが、単価は低く、大きな集まりが段々減ってきている。宿泊も常連客はいるが、年々団体客が減ってきている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・例年4月は歓迎会で忙しい時期だが、今年は動きがあまり良くない。
		その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	来客数の動き	・4月の入庫台数は過去10年間で最低である。10年以上前の古い車両が前年並みである外は、減少が続いており、高年式の1～2回目という車検はほとんどない。ディーラーの囲い込みがますます強くなってきている。
		設計事務所（所長）	販売量の動き	・新規の依頼物件がなく、現在手掛けている物件が終了したあと、仕事がくる保証がない。同業者や建設業者からも受注物件が少ないと聞いている。
	悪くなっている	コンビニ（店長）	それ以外	・4月に入ってから毎晩のように雨が降っているのので、夜の客が少なく、売上が最悪である。
企業動向関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	食料品製造業（営業統括）	受注量や販売量の動き	・比較的高価格帯の商品の荷動きが相変わらず良い。
		金属製品製造業（経営者）	競争相手の様子	・自動車、産業機械、工作機械等、大変好調に推移している。一方、親会社の生産拠点が遠方に移動するために発注先の変更や取引ができなくなる例が出てきており、設備には慎重になっている。
		金融業（調査担当）	受注量や販売量の動き	・一般機械、電子部品デバイス、輸送用機械部品を中心に製造業の受注は堅調に推移している。非製造業はガソリン、灯油価格の高騰により、利益面で厳しい状況が続いている。全体では製造業にけん引され改善方向にあるが、非製造業全体に波及するまでには至っていない。
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新年度に入り、新規販促予算が増えている。宣伝広告及び事業案内ツールなどの受注も前年を5%ほど上回っており、現在でも引き合いが増えている。
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・チラシ出稿量は前年比101%であるが、年末に大型店が閉店したことを考慮するとかなり健闘している数字である。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・引き合い、受注量共に増加傾向にあり、取引が活発化してきている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	変わらない	一般機械器具製造業（生産管理担当）	受注量や販売量の動き	・受注増に伴う納期に対応するため、4月は全社員で休日出勤を行っている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・在庫調整で受注ゼロの状態が続いている取引先がある。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・部品加工等は非常に忙しい状況が続いているようだが、組立及び地盤実装関係では仕事が少なくなっている。
		その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・3月後半から多少良くなってきた店舗もあるが、売上不振の店は相変わらず回復していない。
		その他サービス業〔放送〕（営業担当）	受注量や販売量の動き	・中長期契約の官公庁、電機、自動車産業等からのタイムコマースは横ばい状況にある。商業、サービス業、不動産業からのスポットコマースはわずかに増加してきているが、大型店、商店街からのイベント受注が激減している。
	やや悪くなっている	化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・従来品の生産を3月で打切り、4月から新製品の試験的製造を開始しているため、売上が大幅に減少している。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量が通常の3分の1以下になり、操業を短縮するところまでいっている。何とか回っているが、1月と同様に4月の受注量は非常に悪く、先細りの感がある。
		輸送業（営業担当）	競争相手の様子	・燃料高のため、協力会社等の車両確保が特に厳しく、業務も運賃の確認が先になっている状況である。前年並みの輸送量確保は難しい。
	悪くなっている	窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・特注品に加え、店頭的一般商品関連の受注量が激減している。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・受注量は前年比で横ばいであるが、原材料が前年より約40%値上がりしており、価格転嫁が進まずに、収益が非常に圧迫されている。
建設業（総務担当）		受注量や販売量の動き	・公共事業依存が高い会社のため、公共事業削減の影響が大きく、受注高が前年比71%と減少している。人員も減らしているが、経営は厳しい。	
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	採用者数の動き	・前年同時期に比べ、仕事量がやや多くなっている。
		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・企業の抱え込みが進んでいるようで、派遣の登録スタッフ数が減少傾向にある。
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・製造業を中心に、派遣を含め、求人数の増加が顕著になってきている。ただし、求人数はあるものの、正社員の採用条件が厳しいことは変わっていない。派遣、契約、アルバイト、パートを考える企業が圧倒的多数になってきている。
		学校〔短期大学〕（就職担当）	求人数の動き	・来年度に向けた就職活動も本格化し、すでに内々定を獲得した学生が出始めている。人数はまだ少ないが、就職活動の早い時期から希望に沿った企業の内々定を得ているということもあり、状況は好転している。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	求職者数の動き	・自動車関連、住宅関連等の加工部門では、この3か月生産量は落ちているが、求人数は横ばい、求職者の動きは意外と流れていない。販売サービス部門の求人広告等が目立っている。全般的には、ほぼ横ばいの状態で推移している。
		求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・1月中旬～4月中旬まで求人広告の掲載件数はかなり伸びていたが、ここにきて連休が入る関係で広告申込みが落ちている。また、コンビニや外食等では今まで何度か掲載をしているが、人が集まらない状況だと聞いている。
		求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・4月後半になってから求人企業も減っており、正社員募集は特に少なく、まだ本格的な景気回復には至っていない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は6,177名と、前年同月比で3か月連続増加しているが、その内容は2,000名を超えるパート求人や、求人数全体の19%を占める派遣求人などであり、正社員の求人状況が厳しいことは変わっていない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	やや悪くなっている	-	-	-
	悪くなっている	-	-	-

4. 南関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連	良く なっている	百貨店（店次長）	来客数の動き	・来客数は前年よりも大きく増加している。
		スーパー（統括）	それ以外	・各店でパートの採用、アルバイトの採用活動を行っても、従来に比べかなり応募の人が減ってきている。新卒採用も開始しているが、学生の会社説明会や面接の参加人数も昨年の6割前後となっており、採用は非常に厳しくなっている。すなわち、景気が良くなり、雇用環境が好転している。
		家電量販店（営業統括）	販売量の動き	・ゴールデンウィークを控えて行楽用品を中心に販売数量が増加している。また、引き続き薄型テレビの販売数量も拡大傾向にあり、買換え需要は堅調に推移している。
やや良く なっている		一般小売店〔文房具〕（経営者）	来客数の動き	・大型店等で学用品等が扱われなくなったこと、及び、同業者が何軒も廃業したことから、来客数が増加している。
		一般小売店〔茶〕（営業担当）	お客様の様子	・今月は、新茶の予約注文が去年よりも増えてきている。会社注文分ばかりではなく、個人注文分までも増加している。
		百貨店（広報担当）	販売量の動き	・4月前半は不安定な天候による気温の低下が続いたため、本来終盤を迎えている春物商品が依然大きく動いていた。中旬以降も雨や曇りの日が多く低温が続いたため、初夏物はファッション性の高いものを中心に動いたものの大きな伸びには至っていない。春物商品の需要が高く、売上は全体として前年を上回る基調であるが前月よりは強くない。
		百貨店（広報担当）	単価の動き	・客数、販売数量は前年を下回っているが、平均単価が前年を上回る傾向が続いている。特に美術、工芸品、宝飾、時計などの高額品の動きが良くなっているほか、衣料品も婦人、紳士共に、好調な動きを見せている。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・来客数が確実に増加していることに加え、買上決定率も高く、少しずつではあるが良い方向に向かっている。しかし、まだ全部が好調ではなく、格差が出ている状況である。
		百貨店（販売促進担当）	単価の動き	・客の囲い込み施策が奏功している売場では、確実に買上単価、頻度が共に増加している。逆に顧客ニーズをつかみきれない売場では低迷が続いている。市場は上向きであることは確かだが、顧客ニーズのとらえ方により乗り遅れている場合が少なくない。
		百貨店（店長）	販売量の動き	・来店客数が前年を超え、婦人服、紳士服などの衣料品、雑貨含めて、前年比105%と好調に売れている。特に、スプリングコート、ジャケット、ドレスなど高単価商品がリードアイテムになり店全体の売上を押し上げている。
		百貨店（営業企画担当）	来客数の動き	・客単価はそれほど上昇していないが、来客数は数か月連続して増加傾向にある。売上では食料品が好調に推移している。
		スーパー（統括）	来客数の動き	・一部リニューアルをし、来客数が前年同月比で20%増加している。
		スーパー（総務担当）	販売量の動き	・単価は変わらないが、買上点数が少しずつ伸びてきて、やや回復の兆しを感じられる。売上も前年をクリアできている。
		衣料品専門店（次長）	お客様の様子	・服飾雑貨などを購入する人が増え、買上点数が増加してきている。
		衣料品専門店（営業担当）	販売量の動き	・今月も前年比で110%と好調である。ジャケット、ベスト、インナー、ボトムと各アイテムで売れ筋があり、商品確保もできている。買上客数も増加しており、11か月連続で前年をクリアできている。
		住関連専門店（統括）	販売量の動き	・土日の来客数も大分増加してきており、販売量もやや上向いている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他専門店 〔眼鏡〕(店員)	販売量の動き	・サングラスの需要が徐々に動き出したことから、来客数及び販売数共に増加している。また、金枠等の高額品が相変わらず好調に推移している。
		都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・前年同月と比較すると、予約状況、単価が上昇してきている。
		都市型ホテル (スタッフ)	お客様の様子	・婚礼利用については相変わらず逆風であり、近隣に独立型のウェディングハウスの開業が相次ぎ、当社での婚礼利用件数は減少する一方である。しかし一般宴会と称される法人の代理店招待、得意先招待のパーティー、業績達成のキックオフパーティーや優秀社員表彰パーティーの利用申込が増えてきており、前年比で予約件数が2割上昇している。
		旅行代理店(従業員)	お客様の様子	・見積依頼が多くなった。
		旅行代理店(従業員)	販売量の動き	・行楽シーズンになったこともあり、団体旅行の数が増えている。ただし、前年同期比では若干減少している。
		タクシー運転手	お客様の様子	・やや客数が増加した感がある。その最大の原因は、運転手が集まらず稼働率が下落したことだと思われる。今月は、忙しい日と暇な日が極端である。
		通信会社(経営者)	販売量の動き	・デジタルテレビの売上がコンスタントに伸び、それに伴いケーブルテレビの契約も増加している。
		通信会社(企画担当)	販売量の動き	・受注量は、解約もあるものの好調に推移している。
		通信会社(営業担当)	販売量の動き	・デジタル放送、インターネットに続いてプライマリー電話が3月から売れ始めてきている。
		パチンコ店(経営者)	来客数の動き	・サラリーマン層の夕方以降の来客数が増加している。
		設計事務所(経営者)	お客様の様子	・取引先の上場企業等がかなり改修工事や設備の改善をしていることから、多少景気が上向いている。
		設計事務所(所長)	お客様の様子	・今月に入り数件の成約ができ、ようやく本来の状況に戻りつつある。
		変わらない		商店街(代表者)
商店街(代表者)	来客数の動き			・最近の新聞によると、かなり景気が上向きだという話がある一方、近隣の大規模出店による影響を相当な形で受けざるを得ないため、我々のところに景気回復が来ない。
一般小売店〔衣料・雑貨〕(経営者)	お客様の様子			・4月は気温も安定し春の行楽シーズンに入り、ジャケット類、インナー商品、パンツ類の動きが良い。まずまずの状況となっている。
一般小売店〔酒類〕(経営者)	販売量の動き			・コンビニから昔の酒飯店に移行したため、来客数が激減している。天候が不順であるせいか、花見客も例年よりも少ない。
一般小売店〔靴・履物〕(店長)	来客数の動き			・3か月前と同様に、当店だけでなく中心街の客の様子をみても悪い。
一般小売店〔鞆・袋物〕(従業員)	単価の動き			・ギフト需要については、単価が2割～3割上昇しているが、身の回りの商品については、買い控えの傾向が強い。消費動向は、良い物、欲しい物があれば、単価的には高額商品でも購入する傾向があるため、イベント需要、シーズン需要の打ち出し方によっては、単価上昇が見込まれる。
一般小売店〔茶〕(営業担当)	お客様の様子			・客の高齢化の影響から、付き合いが減少している。このため、新茶時期の季節のあいさつの予約、商品の数が減少してきている。
一般小売店〔CD〕(営業担当)	来客数の動き			・来客数は増加しているものの、まとめ買いは少なく、全体としては前年並みである。
百貨店(総務担当)	お客様の様子			・慎重な購買態度には変化がない。
百貨店(総務担当)	販売量の動き			・衣料品が好調で飲食関係が伸び悩むといった構図がこのところ続いている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（業務担当）	販売量の動き	・4月は週末の天候が悪く、また、気温も比較的低かったため、春物の動きが全く良くない。天候に左右されない商品の動きも悪化しており、特に、ミセスを対象とする商品の売上は、年配層が外出を控えたため厳しい状況となっている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数の減少に加えて、客単価の減少が目立つようになってきている。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・婦人アウターの売行きが伸びている一方で、肌着、靴下等の売上は前年よりも10%程度下落しているため、前年比で少し落ち込みそうである。
		衣料品専門店（店長）	単価の動き	・以前と比べて、高額商品を購入する客が増加している。
		家電量販店（経営者）	販売量の動き	・週末の天候の崩れが重なり、4月はやや苦戦を強いられており、特に低温のため季節家電に勢いがつかない。テレビ関連は好調を維持しており、サッカーワールドカップ直前の更なる盛り上がりの可能性と共に、地上デジタル放送対応HDD付きレコーダーの動きが好調である。
		家電量販店（店長）	お客様の様子	・購買単価が上昇してきており、付加価値のある商品が販売できるようになってきている。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・整備が順調に入っている一方で、販売が悪く従来の3割減額となっている。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・総販売台数は軒並み前年比をかなり割り込んでいる。決算期3月は良かったが、4月は非常に低迷している。
		乗用車販売店（渉外担当）	販売量の動き	・4月の新車販売実績は予算達成率80.7%、前年比伸張率マイナス4.4%の見込みであり、2か月連続前年割れである。受注はやや前年を上回っているが一部の新型車が登録に結びつかない。一方、輸入車はニューモデルが2車種発売になり予算達成率116.2%、前年比伸張率プラス43.3%の見込みであり、相変わらず新車次第の状況が続いている。中古車販売実績は予算達成率108.4%、2か月ぶりに前年比伸張率プラス6.1%の見込みである。
		乗用車販売店（販売担当）	単価の動き	・トラック運送業界とトラックディーラーの景気は今のところ良いとも悪いとも言えない。車両は買わざるを得ないが、運賃が上がらず軽油の値段が上がっているため、トラック本体の車両価格の値引きが強要されている。
		その他専門店〔雑貨〕（従業員）	販売量の動き	・大きなものは売れるが、販売数は変化がみられない。
		高級レストラン（支配人）	来客数の動き	・3か月前とほぼ同じ来客数であるが、法人ではなく、個人客が徐々に増えてきている。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・今月は花見客が減少し、期待したほどの来客数はない。
		都市型ホテル（支配人）	お客様の様子	・前年と比べて客の予約状況に変化がみられない。
		タクシー（団体役員）	お客様の様子	・例年この時期は歓送迎会などで需要があったが、今年は一次会で終了することが多く、タクシー利用の需要まで至っていない。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・大型の再開発事業なども進行し、営業環境は好転しているにもかかわらず、契約実績には結びつかず厳しい状況は変わらない。
		通信会社（総務担当）	お客様の様子	・昨年と比較して加入者数が減少している。
		通信会社（管理担当）	販売量の動き	・顧客動向は良くなっているが、3か月前と比べて特段変化がある状況ではない。
		設計事務所（所長）	お客様の様子	・数年来の経済不況は続行しており、良くなるという気配はない。
		住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・工事の請負、住宅の分譲は価格が低下したまま、受注量、販売量共に少ない状態が続いている。大企業と中小企業間の格差がますます拡大している。
	やや悪くなっている	一般小売店〔文具〕（販売企画担当）	単価の動き	・例年と比べて新入学用品があまり売れていない。少子化ということもあるが、学校がメインのものを教材屋を通じて先に出していることも考えられる。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
		百貨店（営業企画担当）	お客様の様子	・気温の低下によって大きく前年を上回った冬物商戦とは異なり、4月の商戦は気温が上がらないため最盛期のセーター、ジャケットの動きが悪い。実需要が増加しないため、バーゲンを行っても必要最低限のものしか買わないという客の姿勢が強く、底上げにつながらない。	
		百貨店（販売管理担当）	来客数の動き	・食品や雑貨は前年を大きくクリアしているが、天候不順のため、婦人、紳士共に衣料品の動きが良くなく、グロスで前年並みである。	
		スーパー（店長）	来客数の動き	・前年と比較し来客数が200人減少し非常に厳しい結果となっている。	
		スーパー（仕入担当）	来客数の動き	・雨の日が多く来客数が減少しており、特に、上旬の花見、春休みの時期は気温が低く行楽の需要が少ない。	
		コンビニ（経営者）	それ以外	・大規模商業施設がオープンし、パートやアルバイト等の従業員が全く集まらず、さらに時間給が高騰し経営を圧迫している。当社も5店舗中1店舗を人手不足のために閉店するという異常な状況になっている。	
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・近くに大型店が開店し、客の動きが変化している。	
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・2日間開催される地域の祭りが、だんだん寂しくなっている。	
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・前半の天候不良のためなかなか購買意欲が上昇せず、来店客からはまだ早い等の声が多く、売り逃しが多い。	
		一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・歓迎会が少なく、あってもランチで済ますという状態である。	
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・社会全般の顧客の動きはまだなく、接待費、交際費も使われる様子がない。	
		通信会社（営業担当）	来客数の動き	・ショップ量販店の集客が厳しい状況になっている。	
		観光名所（職員）	来客数の動き	・雨の日が多く、前年比で20%の減少となっている。	
		設計事務所（所長）	お客様の様子	・いろいろな案件を提案しても、いざ決断となると、先の見通しが今一つということで、決断しかねているケースが多い。	
		設計事務所（所長）	来客数の動き	・計画物件はある程度出てきているが、全体的にははっきりせず、実質的なところまでは成立していない。	
		悪くなっている	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・例年は4月に入ると学生の入替わりも終わり、新歓コンパ等もあり酒が売れるが、今年は全く売れない。また、学生等の客単価もかなり安く、安価なもの、値下げしてあるものしか売れない。
			その他小売〔生鮮魚介卸売〕（営業）	単価の動き	・輸入商品の値上がりが悪影響となっている。
設計事務所（営業担当）	単価の動き		・競争が一段と激しくなっており、見積単価が下がってきている。		
企業動向関連	良く なっている やや良くなっている	不動産業（従業員）	受注量や販売量の動き	・土地、建物等、価格が上昇しており、中古物件も値上がり傾向にある。	
		その他製造業〔靴〕（経営者）	取引先の様子	・サンプル数が増加するとともに、企画が商いにつながりつつある。	
		金融業（審査担当）	受注量や販売量の動き	・長期金利が上昇しており、明らかに景気回復の兆しがみられる。	
		金融業（審査担当）	取引先の様子	・金属加工業者は昨年後半より受注が増加し、今年に入っても依然として好調で現在フル稼働の状況である。	
		不動産業（総務担当）	取引先の様子	・賃貸ビルの入居率は高水準で推移しており、相変わらず好調である。	
		税理士	取引先の様子	・建設業、婦人服、飲食店等が前年同月の売上を上回っている。	
		その他サービス業〔情報サービス〕（従業員）	取引先の様子	・新年度に入り、新規通信系設備投資の案件における引き合いが多くなっている。まだ情報提供、提案レベルであるものの数多くの依頼がきている。	
		変わらない	食料品製造業（経営者）	取引先の様子	・仕入先などで、商品の動きが出ている店もあるが、原材料の値上がり等により流動的である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		食料品製造業（関連会社担当）	受注量や販売量の動き	・3月同様、売上は前年比で若干マイナスとなっているが、主要販売先であるスーパーマーケットの売上の前年割れが続いていることが影響している。
		出版・印刷・関連産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・4月に入って引き合い等が極端に少なくなってきた。しかし、見積もったものの受注率は悪くなかったため、何とかやりくりがしたが、苦しい状態である。
		出版・印刷・関連産業（経営者）	競争相手の様子	・発注される仕事量が少なく、先行き不透明で難しい現状である。
		プラスチック製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量は前年同時期に比べるとどの品種も増加傾向にあるが、原油価格の高騰による材料コストの上昇分を、競争力維持のため価格に転嫁することができず、利益につながらない。
		金属製品製造業（経営者）	取引先の様子	・受注量が増しているため、作業手順等、管理方法を改善すれば、売上増大の見通しがつくようになる。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注は順調であり、単価は今までと変わらないが、仕事量は順調にきている。新たな仕事がある反面、なくなるものもあり、平均すると3か月前と変わらない。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・石油高が要因かどうかは不明だが、やや右肩上がりであった発注、受注傾向が水平状態のカーブになりつつある。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・売上は1月比97%となり、同様な水準で推移している。
		建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・商品がなかなか売れない。
		建設業（経理担当）	受注価格や販売価格の動き	・先日初めての客から受けたマンションの見積依頼は、当社が一番高い見積だったようであるが、VE提案を依頼され、成約にこぎつけた。これまで、価格だけで受注選択がなされていたが、今回は、これまでになかった受注の形となった。建設業界のいろいろな事件を踏まえ、客の考えが多少変化しつつある。
		輸送業（経営者）	競争相手の様子	・昨今の燃料費の度重なる上昇により経営内容が非常に圧迫され、同業者も大変苦労している。
		輸送業（営業統括）	取引先の様子	・4月以降も設備投資をしていく方針であったが、あまり状況が良くなかったことから設備投資をやめた客がいる。
		金融業（支店長）	取引先の様子	・各取引先の会社関係では、良い業種と悪い業種が極端になっている。建設不動産と、原油やガソリンの高騰のあおりを受けた運送業はあまり良くない。一方、製造業は売上が上がってきているが、平均すると全体ではそれほど上がってはいない。
		不動産業（経営者）	競争相手の様子	・当社の前にある今年2月に完成した70世帯の賃貸マンションは、本来新築の場合は完成と同時に入居者が決まっているのが普通であるにもかかわらず、いまだ半分しか決まっていない。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・建設業関係のある取引先では忙しく、人員を増やして対応している。
やや悪くなっている		一般機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・新年度である1～2月はやむを得ないとしても、3～4月になっても芳しい動きがみられない。
		輸送業（財務・経理担当）	それ以外	・今年に入り軽油の値上げが続いているため、利益が圧迫されている。運賃に反映したいが、業界全体にそのような動きがなく、値上げに踏み切れない。
		輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・得意先の前半の出荷予定量が低調であり、特に国内出荷が少ない。輸出量が若干増えているため全体量を保ってはいるが、トラックでの国内輸送量が少なくなるので厳しくなる見込みである。
		その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	取引先の様子	・原油高騰などの先行きの不透明感から、客先の引き締めが厳しくなっており、受注量が平年並みに落ちてきた。
悪くなっている		プラスチック製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・4月は受注量が激減している。
雇用関連	良くなっている	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・派遣スタッフの早期確保のため、クライアント側から派遣料金の値上げを言ってくる状況になってきた。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	雇用形態の様子	・3か月前に比べ求人数が1.5～1.7倍増えている状況の中で、経費的な面での緩みが来ている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
やや良くなっている		求人情報誌製作会社（広報担当）	求人数の動き	・求人を出す企業が増えているのさることながら、一社で大量に人数を採用する企業も増えてきた。特に新卒採用の爆発ぶりが目に付く。
		人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・クライアントからの求人数が増加している。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・派遣の全体的な受注数がやや鈍化しているなかで、通信業等の電話業務が増加している。
		人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・受注が増えていることから、人材の取り合いになっている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・必要な人員を確保できないため、求人広告を増やす企業が増加している。条件を向上させたものや、正社員採用の求人も若干増加しているが、目立つほどではない。
		職業安定所（所長）	求職者数の動き	・事業主都合離職が減り、在籍者及び転職希望者の求職活動が増えている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新卒者の採用が好調であり、新規求人が4月27日時点で前年同月比で18%上回っている。また、就職数も増加している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数が前年同月比で20%増となり、有効求人倍率が1倍となっている。ただし、派遣、請負等非正社員求人が2割を占めており、雇用のミスマッチは解消されていない。
		民間職業紹介機関（経営者）	採用者数の動き	・求人案件がかなり増加しており、採用数も増加している。採用の決定についても、以前よりも判断や決定が早くなるという傾向がみられる。企業も中長期的な観点から、人材のポテンシャルがあれば採用するようになってきている。
		学校〔専門学校〕（教務担当）	採用者数の動き	・前年同期比で3倍の内定がある。
学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・求人獲得件数が前年度より10%程度上向きになっている。		
変わらない		職業安定所（職員）	採用者数の動き	・5月からの就職が決まった人の届出がかなり多く、過去3か月でも就職者数が前年同期よりも増えているが、求人倍率は職種別にみると、事務的な職業が0.48倍となっており、職種によってもばらつきがある。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・4月の新規求人数は一般求人が15.4%減少、パート求人が19.0%減少となり、前年同月比で2か月連続減少した。業種別にみると建設業、卸売、小売業、サービス業からの求人数の減少が目立った。また、新規求職者数については一般求職者が17.8%減少と依然減少傾向で推移しているものの、パート求職者は22.1%増加となった。
やや悪くなっている				
悪くなっている				

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連	良くなっている	一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・来客数の増加、客単価の上昇が1年以上続いている。客の顔色も明るい。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・全体の来客数はそれほど変わらないが、客の年齢層が従来の30代後半～60代から少し若くなっており、若年層の売上が少し増加している。
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・一部に前年の愛知万博効果の反動がみられるものの、来客数が着実に増加しており、基調としては良くなっている。
やや良くなっている		商店街（代表者）	販売量の動き	・明らかに来客数が増加し、販売量も増加している。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	来客数の動き	・来客数は少しずつではあるが確実に増えている。ギフト商品もますますの売上である。
		一般小売店〔贈答品〕（経営者）	お客様の様子	・客は高値でも品質の良い物を買うようになってきており、生活に多少のゆとりが出てきている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般小売店〔高級精肉〕(企画担当)	販売量の動き	・買い得商品が販売の中心ではあるが、高額商品も動き出している。
		百貨店(企画担当)	販売量の動き	・春物衣料が順調に動き、高級ブランドの高額品も好調に推移している。
		スーパー(総務担当)	来客数の動き	・来客数が1.3%増加している。
		スーパー(営業担当)	来客数の動き	・既存店の来客数が増加しており、イベントなどへの反応も良い。ただし、競合店の新規開業なども影響し、微増にとどまっている。
		コンビニ(エリア担当)	来客数の動き	・客単価はやや低下しているが、来客数は前年比プラスであり、売上は前年をクリアしている。
		家電量販店(店員)	単価の動き	・大画面薄型テレビが好調で、32インチでも小さいというイメージになってきており、37インチ以上がよく出るようになってきている。洗濯機も17万円程度のドラム型が人気である。
		乗用車販売店(経営者)	来客数の動き	・来客数は例年に比べて増加している。特に定年退職前後の客の来店、購入が増加している。
		乗用車販売店(従業員)	お客様の様子	・客の購買意欲は高まっており、昨年同時期と比べても若干良い。欲しい物は買うという方向になってきており、全体的に良くなっている。
		乗用車販売店(営業担当)	来客数の動き	・販売量は減少しているものの、来客数は増加している。
		住関連専門店(営業担当)	販売量の動き	・工場、民間建築物、分譲、持家住宅、賃貸マンション、商業施設が好調である。
		一般レストラン(経営者)	単価の動き	・1人当たりの単価が10%ほど上昇している。
		一般レストラン(スタッフ)	来客数の動き	・平日はそれほど変化はないが、特に給料日後の週末の消費は確実に増加している。
		スナック(経営者)	来客数の動き	・今月前半は、歓送迎会などの団体客が予想以上に多かった。月末は大型連休前のためか人出は減少したが、月の売上は前年比で1割ほど伸びている。
		観光型ホテル(スタッフ)	単価の動き	・ゴールデンウィーク予約客の利用単価は、かつての勢いを取り戻してきており、好調である。
		都市型ホテル(支配人)	販売量の動き	・今年のゴールデンウィークは、万博開催前の一昨年と比べて、宿泊需要は大きい。
		都市型ホテル(スタッフ)	来客数の動き	・大口の新入社員研修が入っており、新規の研修も数件入っている。
		旅行代理店(従業員)	販売量の動き	・桜の花見などの季節商品が堅調に売れている。また日帰り旅行や昼食と入浴の旅行商品も需要が多く、売上は伸びている。
		通信会社(営業担当)	販売量の動き	・光ケーブル化が進み、インターネット電話の利用も増加している。
		ゴルフ場(経営者)	お客様の様子	・料金単価はまだ厳しいが、ゴルフをしたいという意欲はみられ、利用客は増えている。
		パチンコ店(経営者)	販売量の動き	・来客数が増加している。
		住宅販売会社(従業員)	来客数の動き	・多くの会社で社員を積極的に増やしている影響で、社宅確保の相談のため仲介店に来店する件数が増加している。
		住宅販売会社(企画担当)	来客数の動き	・相談会などのイベントへの来客数は、前年同月比で2割ほど増えている。
	変わらない	商店街(代表者)	お客様の様子	・3月の終わりから4月の中旬にかけては良かったが、それ以降は売上に繋がっていない。客の様子を見ていると、購買意欲は高まっているが、販売増には繋がっていない。
		商店街(代表者)	お客様の様子	・販売量、客単価、商店街の人通りとも昨年同様であるが、客の様子を見ているといまひとつ活気がなく、とりたてて良くはない。
		一般小売店〔酒〕(経営者)	来客数の動き	・週末の人出は多いが、平日の来客数が例年に比べて少ない。自動販売機の売上も平日はやや悪い。全般的には、前年並みである。
		一般小売店〔時計〕(経営者)	来客数の動き	・近隣にあったショッピングセンターが閉鎖したため、以前より集客力は落ちている。
		百貨店(売場主任)	お客様の様子	・例年に比べて寒い日が続く、相変わらず動きは悪い。土日でも来客数は少なく、フロアによっては店員の方が多い売場もある。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（企画担当）	販売量の動き	・売上は引き続き前年同月を上回っているが、主力アイテムである婦人服、紳士服の売上の勢いは落ちてきている。輸入高級ブランドの好調など、好要因もあるが、最近数か月のように全てのアイテムが好調という状況ではなくなっている。
		百貨店（外商担当）	お客様の様子	・引き続き、外商顧客への訪問販売の感触、反応は良くなってきている。紳士服の催事でも、男性客の来店が増え、売上は前年を上回っている。
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・大型店、小型店の競争がますます激化し、パーゲンハンターが目立ってくるので企業の収益にはつながらない。どこの企業も客の確保に必死である。
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・客の買物動向は相変わらず慎重で、客単価も上がっていない。
		スーパー（店長）	単価の動き	・客単価は前年比98%前後で推移している。酒税の増税などもあり、まだまだ買い控えがある。
		スーパー（店長）	単価の動き	・特別大きな単価の変化は感じられない。
		スーパー（店員）	販売量の動き	・売上は、3か月前と比べると変動はない。ただし、前年比では95%前後と、前年割れが3年間続いている。
		スーパー（仕入担当）	来客数の動き	・上旬は気温の寒暖の差があり、また前年に比べ雨の日も多く、集客が悪く売上が減少している。4、5月は物量前年比115%という動きも相場が良く、また競合先との価格競争などもあり売上が伸びている。下旬は催事が好調で売上も持ち直している。客は気に入った物や目新しい物にお金を使う流れが出てきている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・2～4月の来客数は10%前後ずつ伸びているが、過去3年間とほぼ同様の伸び方である。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・今月は週末に天候が崩れた日が多く、売上は減少している。それにつられて平日も前年より下回っている。
		コンビニ（エリア担当）	それ以外	・売上の前年割れ状況が継続しており、依然として厳しい状況が続いている。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・相変わらず、売上は前年比95%と低調が続いている。
		コンビニ（売場担当）	販売量の動き	・売上はほぼ前年並みであり、景気が良いという感じが数字には表れていない。
		衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・来客数は少し増加しているが、客単価は上昇していない。
		衣料品専門店（企画担当）	販売量の動き	・単価は下げ止まっているが、販売量は増加していない。
		家電量販店（経営者）	お客様の様子	・客の様子はまだ非常に慎重で、割安感のあるものをよく探している。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・3月は入学や就職関係で動きが良かったが、4月は落ち着いている。
		乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・客との会話では3か月前からやや悪い様子が続いており、ゴールデンウィークもお金がないから外出しないという客が大多数である。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・販売量から判断すると、芳しい状況ではない。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・来客数も販売台数もほぼ前年並みであるが、単価は少し下がってきている。高級車が売れないのも一因である。
		自動車備品販売店（経営者）	来客数の動き	・連休前の整備メンテナンスが少しは入ってきており、3か月前よりも売上は増えてきているが、景気が良いとまでは言えない。
		その他小売〔水産物卸売〕（経理担当）	販売量の動き	・問い合わせの電話はあるが、受注にはつながっておらず、様子見の状態が続いている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・売上は前年比では多少伸びてきているが、ここ3か月間の推移で見ると横ばいである。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・週末は歓送迎会の客があるが週初めは少ないというように、客の出入りが例年より激しい。
		その他飲食〔仕出し〕（経営者）	お客様の様子	・新年度に入って、気分一新というよりは、財布のひもは逆に固くなっている。
		旅行代理店（経営者）	来客数の動き	・年初から動きが良く、来客数はかなり増加している。ただし、1、2月の勢いと比べるとやや足踏み状態となっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・今年ゴールデンウィークの日並びも良く、長期の海外旅行商品がよく売れている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・前年同月比で、利用者数は5%ほど増加している。
		タクシー運転手	お客様の様子	・今月は寒い日は客の動きが良いが、風が強い日、黄砂が飛ぶ日は減少するなど、良い日と悪い日の差が激しい。
		通信会社（サービス担当）	お客様の様子	・年度替わりの繁忙期であるが、特に販売額が増加しているわけではなく、例年と同じかむしろ少なめである。
		通信会社（開発担当）	販売量の動き	・マンションなどから、光通信サービス設置の注文が増えている。
		ゴルフ場（企画担当）	来客数の動き	・ゴルフシーズンに入り4月中旬から来客数は徐々に増えてきているが、1か月を通して見ると今一歩である。1～4月の4か月間では、前年比、予算比ともやや悪い。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・今まで自分でヘアカラーをしていた人もヘアカラーのために来店するなど、来客数は引き続き増加している。
	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・金利が上がり始めているため早めに住宅購入したいという客はいるが、売上などへの影響はまだ出ていない。	
	やや悪くなっている	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・単価は2か月ぶりに上昇に転じたが、購買マインドは逆に冷えてきている。新年度に入り、来客数が減少するとともに、購入への慎重さが目立つ。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・3月のグリーン税制改正前の駆け込み需要の反動で、受注台数は前年割れとなっている。
		乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・今月は客の動きがかなり鈍化しており、土日にイベントを実施しても新規客の来店はほとんどない。
		その他専門店【貴金属】（店長）	販売量の動き	・販売量が減少し、単価も低下している。ギフト商品売上の伸びもない。
		都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・傾向的にはやや上向いているが、波があり、今月だけ見ると特に前月と比べて少し元気がない。
		通信会社（企画担当）	販売量の動き	・解約数の増加傾向は一段落したものの、新規契約数が減少している。業界の競争も激しさを増している。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・特に4月後半は、販売台数が減少している。競合他社の販売量も減少している。
		その他サービス【語学学校】（経営者）	販売量の動き	・これまでは入校者数が退校者数を上回っていたが、今月は開校以来初めて、退校者数をカバーできていない。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・持家を取得するよりも増改築で済ませたいという客が増加している。
		悪くなっている	美容室（経営者）	来客数の動き
	美容室（経営者）		来客数の動き	・ヘアカラーなど、客が自分でできることは美容院ではしなくなっている。
	企業動向関連	良くなっている	企業広告制作業（経営者）	競争相手の様子
やや良くなっている		紙加工品【段ボール】製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・先月に引き続き、自動車関連や複写機関係からの受注が盛んである。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・原材料、石油製品類の値上げがあったが、受注量、販売量とも良い状況が続いており、カバーできている。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	取引先の様子	・不況期に経営不振が続いた個人経営の飲食店からも、売上増加の話も聞いている。
		窯業・土石製品製造業（社員）	受注量や販売量の動き	・品質面の競合で受注を失った案件もあるが、取引先の増産により受注量が2倍以上になったものもあり、全体としては増加している。
		一般機械器具製造業（経理担当）	それ以外	・当期決算では、売上は目標をほぼ達成しており、利益も予想を上回っている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・家電関係は減少傾向にあるが、重電、設備関連の製品が安定して動いている。以前に比べると微増にとどまっているものの、全体的には良くなっている。
		電気機械器具製造業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・4月に受注した分の粗利率は、前年同月比でやや良くなっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	変わらない	電気機械器具製造業（企画担当）	それ以外	・販売量は堅調である。
		輸送用機械器具製造業（統括）	受注量や販売量の動き	・主力取引先からの受注量が徐々に増えてきている。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・中部地方の貨物需要はかなり強い。特に海外への輸出が強くなっている。
		金融業（企画担当）	取引先の様子	・多くの取引先で決算状況は改善している。ただし、売上増加によるものではなく、費用削減の成果である。
		公認会計士	それ以外	・顧客先企業では業績が向上している。賞与金額も増加に転じている。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・駅前の商業地域では、売出し中の物件が減ってきている。地価も、下落から上昇に転じる兆しが出てきている。
		会計事務所（社会保険労務士）	取引先の様子	・当期決算は、多くの顧客先企業で黒字もしくは前年度比で赤字幅が減少している。売上も増加している。
	変わらない	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・売上、経常利益とも増加しているが、微増にとどまる。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・国内販売は動きが出てきて売上はやや増加であるが、輸出は米国向けで一服感がありやや減少である。全体としてほぼ横ばいとなっている。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	取引先の様子	・引き続き大量の受注残を抱えており、新しい仕事が入る余地がないほどである。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・設備投資の動きは、引き続き活発である。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・前月はトラック貨物に非常に活発な動きがあったが、4月に入ってから荷動きは緩慢になっている。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・1日の平均取扱荷物量は確実に増えているが、運賃が抑えられており、収入は荷物量に比例して増えていない。
通信業（営業担当）		取引先の様子	・取引先企業の投資意欲に大きな変化はない。	
やや悪くなっている	広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・小さな案件の発注は増えているが、全体的にはあまり変わらない。	
	鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量、見積件数とも、全く振るわない状況にある。	
悪くなっている	一般機械器具製造業（販売担当）	受注量や販売量の動き	・主要販売先の米国で設備投資が活発でなく、受注のない日々が続いている。	
	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量が減少していることに加えて、原材料価格の高止まりも続いている。	
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・企業の採用が積極的にになり、需要は増加している。その反面、登録スタッフを募集しても人数を目標通り確保できず、人材確保に苦労している。
		人材派遣業（経営企画）	周辺企業の様子	・エンジニアに対するニーズは堅調であり、採用意欲も高い。
		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・派遣需要は減少傾向にあるが、正規社員の採用意欲の高まりが背景にあり、全体としては良くなっている。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	求人数の動き	・転職求人は全体的にはやや落ち着いてきている。しかし、製造業が中心の地域では、まだまだ極めて活発な動きがある。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・大手自動車メーカーのグループ各社からの期間工募集が堅調であることに加えて、一般求人も増えている。
		職業安定所（所長）	求職者数の動き	・全体の求職者数が減少傾向にあるなかで、より良い条件を求める在職求職者の割合が高まっている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数が増えている。ただし、正規社員の求人よりも非正規社員の求人の増加率のほうが高く、派遣求人が全体の半分を占めている。
		職業安定所（管理部門担当）	求人数の動き	・新規求人倍率は依然として高水準で推移している。求人事業者にとっては人手不足が続いている。
民間職業紹介機関（職員）		求人数の動き	・金融業を筆頭に、他の業種でも求人数は引き続き高い水準を維持している。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	変わらない	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・4月に入り、派遣、人材紹介の注文は減少傾向にあり、登録者数は逆に徐々に増加し始めている。
		人材派遣会社（社員）	採用者数の動き	・年度初めに欠員が出ていても増員しない企業が多く、現状維持の状況である。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・企業の人材不足は続いている。業務の大幅拡張に伴う大量の求人申込は少ないが、有効求人数は10か月ぶりに前年同月を上回っている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・しばらく募集がなかった事業所でも求人するなどの動きはあるが、雇用の拡大までには至っていない。
	やや悪くなっている	-	-	-
	悪くなっている	-	-	-

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連	良くなっている	通信会社（営業担当）	来客数の動き	・来客数、携帯電話の販売台数とも増加しているが、特に高額商品の売行きが良い。女性ではデザインを重視する傾向が強い。
	やや良くなっている	一般小売店〔書籍〕（店長）	販売量の動き	・客単価、来客数共に上向き傾向であるが、特に来客数の増加が目立つ。
		一般小売店〔鮮魚〕（従業員）	お客様の様子	・売上は前年比で7～8%の増加となっている。また、納入先でも今までになく多忙という話を聞く。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・消費のキーワードは「上質、高質」である。昨年の春から初夏へのファッションは汎用性の高い商品が好まれていたが、今年は自己主張の強いオリジナル商品が大きな購買要素になっている。食料品、家庭用品でも「上質、産地、職人の巧み」などをキーワードに動いている。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・来客数は前年を若干下回ったが、売上は週末ごとに天候が悪かったにもかかわらず前年をクリアしている。
		乗用車販売店（経理担当）	単価の動き	・ミニバンやセダンでも300～400万円の高額車の売上がやや好調である。
		自動車備品販売店（従業員）	単価の動き	・ワンセグや地上デジタル放送についての関心が高く、ナビゲーション等高額商品の購入客が増加している。
		その他専門店〔医薬品〕（営業担当）	販売量の動き	・季節商品である花粉症関連商品が既存店で前年比7%減少のダメージを受けたが、その他の商品で取り返し、全体としては前年の売上をクリアした。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・レストラン、一般宴会の利用客増加、客室稼働率の上昇などにより増収が見込まれる。また、レストラン利用客の客単価も上昇している。
		通信会社（役員）	販売量の動き	・各テレビメーカーが薄型デジタルテレビの新製品を投入している影響を受けて、ケーブルテレビの申込は堅調に推移している。
		競輪場（職員）	単価の動き	・1日当たり入場者数は3か月前と比べ4.4%増、1人当たり売上単価では同2.8%増となった。
	美容室（経営者）	お客様の様子	・高価格のヘア商品を購入する客が増えている。	
	住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・季節的要因や住宅展の開催などにより来客数は増えている。加えて、金利が上昇するまでに住宅を取得したいという気持ちで動き出した客が多い。	
	変わらない	一般小売店〔事務用品〕（営業担当）	お客様の様子	・例年の年度替わり時期にはコピー機やパソコンなどの買換え需要が発生するが、最近では更に使用期間を1年延長するなど、購入態度が鈍っている。
スーパー（店長）		単価の動き	・来客数は回復してきたが、一品単価の大幅低下による客単価の下落が続き、苦しい状態は変わらない。	
スーパー（店長）		単価の動き	・高額食品の動きも若干みられるが、相変わらず買物の多くは買い得商品で占められている。	
衣料品専門店（経営者）		販売量の動き	・気候の変化で売上は伸び悩んでいるが、客の商品に対する関心は以前より高まっている。	
家電量販店（経営者）		販売量の動き	・パソコン、DVDレコーダーの売上は単価の低下により前年を大きく下回っているが、逆に大型カラーテレビ、携帯電話、IHクッキングヒーター等住設機器の売上は単価の上昇により前年を上回っている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		家電量販店(店員)	販売量の動き	・テレビ、DVDレコーダーの売行きは引き続き順調に推移しているが、パソコンは新製品が登場したにもかかわらず、出足が鈍く、買い控え状態である。
		乗用車販売店(経営者)	来客数の動き	・新型の低価格車は3月に過去最高の売上を記録し、景気回復を予感したが、今月の状況を見ると新車効果と年度末の最高需要期が単に重なっただけの結果と受け止めざるを得ない。
		乗用車販売店(総務担当)	販売量の動き	・新車受注台数は前年並みであるが、ハイブリッド車や一部の人気車が玉不足になっており、売上に結び付かない状況が目立っている。また、受注は一部の人気車に偏っており、主力であるセダン系の受注不振で販売総量が伸び悩んでいる。
		住関連専門店(店長)	販売量の動き	・新築、婚礼のまとめ買いが一部みられるようになったが、一般商品の動きは鈍い。下見や買い回り客が多く、慎重な購入客が増えている。
		高級レストラン(スタッフ)	販売量の動き	・例年に比べ花見のシーズンが長かったが、集客は例年と変わらなかった。来客数は減少傾向にあるが、一部の客層で高単価商品が売れているため、大幅な売上減にはなっていない。
		タクシー運転手	来客数の動き	・企業に明るさが出ているせいか、歓迎会や花見会の開催で週末は前年に比べ人出があった。しかし、平日は人出が少なく、全体としては変わらない。
		通信会社(営業担当)	単価の動き	・携帯電話の価格はあまり変化せず、例年並みの販売台数となっている。また、来客数も例年並みである。
		テーマパーク(職員)	来客数の動き	・今年に入り、来客数は前年比2けたの減少となっている。特に旅行会社の募集ツアーによる客を中心に減少が大きく、3か月前と変わらない。
		パチンコ店(店員)	お客様の様子	・1人当たりの遊技時間が短くなった。
		その他レジャー施設(職員)	単価の動き	・単価を始め、売上、来客数などはほとんど変化がない。
		住宅販売会社(従業員)	お客様の様子	・新築、リフォームとも相見積が多くなっている。客が慎重に検討しているため、競争は激しさを増している。
住宅販売会社(総務担当)	お客様の様子	・金利の上昇気配、地価動向などにより、展示会などで客の動きはあるものの、住宅購入に対する最終決定の意欲にまだ力強さが感じられない。		
やや悪くなっている		商店街(代表者)	来客数の動き	・大手百貨店の撤退により、4月の通行客数が平常月に比較して1~2割減少している。
		商店街(代表者)	来客数の動き	・3月末で大手百貨店が撤退し、商店街のにぎわいが小さくなり、近くの競合百貨店でも前年に比べ売上を落としたと聞いている。
		百貨店(営業担当)	販売量の動き	・来客数が少ない上に、客の慎重な買物行動により買上決定に至らないケースが非常に多い。
		百貨店(営業担当)	お客様の様子	・天候不順が続いた上、昨年の愛知万博のようにはっきりとした旅行目的がみられず、ミセスの行楽用ジャケットに対する購買意欲は高くなかった。婦人服全体の売上は前年比95%であった。
		衣料品専門店(経営者)	販売量の動き	・3月は大手百貨店の閉店セール開催により盛況であったが、その反動から来客数や売上が極端に悪化した。
悪くなっている		商店街(代表者)	お客様の様子	・4月でありながら肌寒い日が多く、雪が降った地域もあって、衣料品は全く動きが鈍かった。災害復旧工事の関係で一部飲食店ではプラス面がみられたが、小売店全般への影響は皆無である。
		スナック(経営者)	来客数の動き	・花見シーズンでありながら、駅前周辺の居酒屋に客が集中し、売上は例年の75%と散々な月に終わった。
		通信会社(営業担当)	販売量の動き	・3か月前は携帯電話の新機種が出そろったため、客に選択の幅があったが、今月は価格の低下も見込めないため、次の新機種の登場を期待し購入を控える客が多い。
企業動向関連	良く なっている	-	-	-
	やや良くなっている	繊維工業(経営者) 一般機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き 受注量や販売量の動き	・相変わらず期近発注が中心であるが、受注量は確保している。 ・生産、販売は過去最高の水準を維持している。また、一部ではあるが、引き合い、受注面で大型特殊機から汎用性のある標準機への移行も増えつつある。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	変わらない	輸送業（配車担当）	受注量や販売量の動き	・今月はようやく前年並みの物量を確保できた。
		食料品製造業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・現状の価格帯、商品構成から見て、日ごとに高騰する原料、燃料費の影響を受け、利益の出にくい方向へ更に進んでいる。
		精密機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・眼鏡産地メーカーの状況は依然二極化が進んでおり、産地全体としては決して上向き感はない。加えて材料関係の値上げについての要請が各サプライヤーから来ており、良く見ても横ばい状態である。
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・小売業では小幅ながら業績が回復しているが、多くの業種は横ばいで推移している。
		司法書士	取引先の様子	・不動産売買で担保権設定を伴わないものが多く、資金を持つ人と持たない人との格差が広がっている。
	会計事務所（経営者）	取引先の様子	・高度な機械部品加工業者で、一部材料の安定入荷に不安が生じており、入荷量確保が課題になりつつある。仕事量はあるが、材料高、残業加算、燃料高などのコストアップで利益に結び付きにくい状況が続いている。	
	やや悪くなっている	建設業（経営者）	競争相手の様子	・年度初めのため新たな公共工事の発注は少なく、また受注してもすぐに着工はできず、このゴールデンウィークはほとんどの同業企業が9連休である。
悪くなっている	建設業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・独占禁止法改正後の入札価格は軒並み低入札が続いており、採算を確保しての受注は一段と厳しい。	
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・登録者数が伸びないため、需要に応じ切れない。
		求人情報誌制作会社（編集者）	求人数の動き	・アルバイト、パート及び正社員募集共に求人数は増加傾向にある。特に正社員募集に対しては、業界を問わず求人意欲がみられる。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・求人広告の出稿量は前年比6%の増加となっている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・関係企業へのヒアリングでは、求人数、採用動機、採用人数から見てV字回復となっている。
	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・3か月前に比べ求人数が増えてきており、派遣や紹介の希望者からも直接採用されたという話が増えた。	
	変わらない	職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・新規求人数を前年比較で見ると平成14年9月以降増加している。一方、一時減少傾向にあったパート、請負、派遣などの非正規雇用求人占める割合が50%以上となり、増加傾向にある。
やや悪くなっている	-	-	-	
悪くなっている	-	-	-	

7. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所（株））

（-：回答が存在しない、_：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連	良くなっている	通信会社（経営者）	お客様の様子	・Webサイトの新規制作などのコンペに声のかかる機会が多くなってきている。
		その他住宅〔情報誌〕（編集者）	お客様の様子	・不動産相場の上昇が確実に進んでおり、しゅん工済みの販売物件で値上げが行われる例もみられた。
	やや良くなっている	商店街（代表者）	単価の動き	・客の様子をみると、価格に対しての抵抗感が薄れ、多少高価なものも購入するようになった。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・進物用の購入が多いが、五月人形でも一般玩具でも質の良い物を選んで購入している。購入に対するちゅうちょはあまりなく、予算も今までより10~20%は増加している。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・3、4月と季節商品は苦戦しているが、これは気温が低かったという特殊要因によるもので、時計や宝飾品、美術品などの高額商品の動きは依然として好調である。
		百貨店（売場主任）	販売量の動き	・生鮮関係の販売量が伸びており、特に高額商品の動きが良い。
	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・4月になってブランド商品の新製品が導入されたため、100万円前後の商品の動きが増えている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・開業医などからの呉服や絵画といった高額商品の引き合いが増えてきている。希少価値のある高額品をできる限り安く買いたいという客が増えている。
		スーパー（店長）	単価の動き	・客1人当たりの単価が上がっており、売上も上向きになってきている。4月は気温が大きく上がらなかったため、衣料品の売行きが悪いものの、その分を食料品や生活用品でカバーしている。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・自動車業界は3月決算なので、3月は例年忙しい時期であるが、今年は4月になっても高水準の売上が続いている。特に、新車販売が好調である。
		住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・個人客の来店も増えており、販売にも明るさがあるが、主力の飲食店向け商品の荷動きは連休前の駆け込み需要も少なく、引き続き極めて低調な状態にある。
		その他専門店〔医薬品〕（販売担当）	販売量の動き	・わずかではあるが販売量が増えている。
		高級レストラン（支配人）	来客数の動き	・桜の開花時期が例年よりも遅れたことで、観光客も月半ばまで途切れることはなかった。
		一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・ばらつきはあるものの、来客数が若干増減しながら推移している。客単価の動きも日によって多少上下しているが、若干上昇傾向となっている。
		観光型ホテル（経営者）	販売量の動き	・1、2月が最悪だったので、それに比べればやや良くなっている。ただ、1、2月に比べれば良くなっているだけで、景気が上向いているという実感は全くない。
		観光型旅館（経営者）	単価の動き	・料理を追加で注文する客が増えてきたほか、高価格の客室から予約が入る傾向がみられる。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・宿泊をはじめ宴会、会議共に前年の売上を大きく上回っている。特に法人利用の伸びが大きく、社員研修のほか例年より単価が上昇した宴会も増えているなど好調である。昨年の愛知万博によるマイナス分も上回っているほか、周辺のホテルも同様に売上を伸ばしている。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・新入社員の入社式参加に伴う宿泊利用が増加し、前年を上回った。
		都市型ホテル（役員）	来客数の動き	・宿泊、レストランは3か月前と比べてあまり変化はないが、宴会件数が大幅に伸びてきている。特に直前になってからの宴会の申込が多くなっている。
		旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・海外旅行の予約受付が前年比で2けた以上の伸びを示している。
		旅行代理店（広報担当）	お客様の様子	・ゴールデンウィークの旅行に対する直前申込がまだ続いている。それも低価格商品だけではなく、アメリカ方面やヨーロッパ方面などの高額商品にも問い合わせが続いている。休みの日数などが確定し、せっかくなので予算が高めの旅行に行こうという人が増えている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・昼間の客による乗車回数の回復傾向は依然として続いている。夜間についても、いくらタクシーを流しても客がいないという状況が少なくなってきた。
		タクシー運転手	来客数の動き	・ハイヤーの利用に対する申込件数は増えているが、今までとは違って1日貸切りではなく必要な時間だけ使うといった形で、細かな利用が増えている。
		通信会社（社員）	来客数の動き	・サッカーワールドカップの開催に向けてテレビの購入が増加し、それに伴ってテレビサービスへの加入が順調に増えている。また、4月に開始した光ファイバーサービスへの申込なども順調である。
		ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・昨年と比べて雨が多いなど天候が不安定であったものの、客単価や来場者数が改善している。
		その他レジャー施設〔イベントホール〕（職員）	販売量の動き	・先月ほどではないが、いろいろなジャンルの催事が入っており、ホール全体の売上も良くなっている。
		その他レジャー施設〔飲食・物販系滞在型施設〕（企画担当）	単価の動き	・集客状況にはまだばらつきがあるが、飲食、物販共に単価はやや上昇傾向である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他サービス 〔ビデオ・CD レンタル〕（エ リア担当）	販売量の動き	・レンタル、物販共に前年の売上を順調にクリアし た。
		住宅販売会社 （従業員）	お客様の様子	・神戸市内のマンション販売は、高額な案件でも順調 に契約がみられるほか、販売不振であったニュータ ウンの戸建物件にも客が戻ってきている。
		住宅販売会社 （従業員）	単価の動き	・マンション販売価格が上昇しているものの、販売状 況は比較的堅調である。
		その他住宅〔展 示場〕（従業 員）	来客数の動き	・4月の展示場来場組数は前年比で2割増加したほ か、1年以内に家を建てたいという客が増えてきてい る。
	変わらない	商店街（代表 者）	来客数の動き	・来客数が安定しないので売上が上下する。
		一般小売店 〔花〕（経営 者）	それ以外	・気温の低い日が続いているため、商品の出荷時期が 例年より遅れている。また、季節商品の仕入価格が高 くなり利幅が縮小している。
		一般小売店〔事 務用品〕（経営 者）	来客数の動き	・新年度に入り客の動きが活発になると期待したが、 わずか2週間ほどで活発さは消えて、普段どおりの動 きとなった。商店街も閑散としている。
		一般小売店〔食 料品〕（経営 者）	競争相手の様子	・経営資源の豊富な大手企業にとっては良い状況かも しれないが、経営資源の乏しい中小零細企業にとっ ては大手との競争が激化し、差別化が難しくなってい る。
		一般小売店〔時 計〕（経営者）	販売量の動き	・今月は月前半に掛け時計や目覚まし時計の需要が集 中し、入学式の直前には腕時計などの需要も増えた が、単価は上がっていないほか、月後半の暇な状況を 合わせると、月全体の販売量、売上共に楽観視できる 水準ではない。
		一般小売店〔精 肉〕（管理担 当）	それ以外	・4月は決算直後でもあり、3月後半より商品の動き が良かったが、その一方で牛肉の高騰が続いて利益が 確保しにくくなってきている。売価に原料の高騰分を 反映させる勇気がまだ持たないので、社内で経営努力 を続けている。
		一般小売店〔精 肉〕（営業担 当）	来客数の動き	・4月に入って気温も上昇し、客足が伸びるはずで あったが、寒の戻りや雨などにより客足が鈍い。
		一般小売店〔家 具〕（経営者）	販売量の動き	・来客数は多いものの、成約件数が非常に少ない。
		一般小売店〔衣 服〕（経営者）	来客数の動き	・今月も天候が不順となったことで、来客数も売上も 悪化しているが、雰囲気的には明るい。
		一般小売店〔野 菜〕（店長）	お客様の様子	・値段が高くなると相変わらず売行きが悪くなり、安 い物しか売れなくなる状況である。
		一般小売店〔自 転車〕（店長）	お客様の様子	・景気の良いときには故障したら買い換える人が多 かったが、今は故障時に商品を買換えるよりも、修 理を依頼する人が多い。
		一般小売店〔カ メラ〕（販売担 当）	来客数の動き	・売上は横ばいであるが、来客数が減少している。客 単価は上がっているにもかかわらず、売上が伸びない。
		百貨店（売場主 任）	お客様の様子	・気候が不安定で春物衣料は不調であったものの、客 は魅力のある商品であれば積極的に購入しており、商 品によっては前年より売上を伸ばしている。
		百貨店（経理担 当）	お客様の様子	・4月は天候不順もあって来客数も少なく、初夏物の 売行きが悪く、婦人ヤング、ミセス向け共に非常に苦 戦した。一方、家電では薄型テレビや紳士時計、宝石 のブランド品の売行きが好調に推移している。
		百貨店（統括）	販売量の動き	・4月の気温が低く、衣料品関連の売上は前年を大幅 に下回ったが、食料品や住関連の売上は3か月前と比 べると良くなっている。
		百貨店（サービ ス担当）	お客様の様子	・春物衣料の婦人服を中心に売行きは好調である。ま た、デパ地下商材の売行きも好調に推移しているが、 全体的に活気がない。
		百貨店（売場担 当）	来客数の動き	・3月は売場改装効果により来客数が増加し、売上は 好調に推移したものの、4月に入り天候不順となった ほか、気温が思うように上昇しなかったことから春物 の動きが芳しくない。
		スーパー（経営 者）	お客様の様子	・競合店が多く、客はその日の広告で左右されるた め、相変わらず厳しい状態が続いている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		スーパー（店長）	来客数の動き	・気温や天候の影響も大きいですが、衣料品や住居関連商品を中心に来客数の減少が著しく、セール時の需要にも力強さが欠ける。ただし、花見などの身近な行事に伴う需要はおう盛である。
		スーパー（経理担当）	販売量の動き	・3月に続き、4月の売上も堅調に推移している。天候不順の影響があったものの、予定を上回る状況である。
		スーパー（経理担当）	お客様の様子	・競合店との間を往来する客の買い回り傾向が依然強いほか、果物の相場安が続いており、全体の売上が伸びない。さらに、加工食品の単価下落が影響している。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・来客数は微増となったが、客単価は逆に若干低下した。ランチタイムの弁当の売上が若干減少し、カップめんの売上がやや増えたことが、客単価の下がった要因となった。
		衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・来客数はやや増加しているが、平均単価が落ちている。
		家電量販店（経営者）	お客様の様子	・客の財布のひもは依然として固く、必要な物を見極めて購入するほか、家電製品については買換えサイクルが長くなっている状況に変化はない。
		家電量販店（企画担当）	単価の動き	・液晶テレビやDVDなどAV商品の単価下落が激しく、それに代わる単価アップ商品がない。
		乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・景気の回復で新車の購入が活発になれば、中古車の買取り台数も当然増加するはずであるが、現状は伸び悩んでいる。
		乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・雨が多くて春らしさを感じられず、気が晴れ晴れとしないせいか、客の動きが鈍い。
		その他専門店〔宝石〕（経営者）	お客様の様子	・今月は例年に比べると気温が低く、特に週末の天候が悪いため来客数は少ない。春夏物の売上は伸びていないが、以前から進めている買取りや下取り、リフォーム、リペアなどが収益を押し上げている。
		その他専門店〔医薬品〕（経営者）	単価の動き	・買上点数に変化はないが、客単価が前月比で2%伸びている。特に、コスメ関連商品の動きが良くなってきている。
		一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・過当競争もあって来客数は伸びていないものの、客単価が高くなっているなど、低価格品に流れる動きがやや変わってきた。
		観光型旅館（団体役員）	お客様の様子	・来客数は昨年よりも増加しているが、一昨年前の水準には達していない。さらに、宿泊施設の料金帯見直しや首都圏からの送迎バスの運行など、来客数の増強が図られているため、現在の状況が景気の回復によるものかどうかは判断が難しい。
		都市型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・宿泊は春休み期間の動きが好調で、個人、団体共に順調である。特にアジアからの団体客が多い。一方、宴会は婚礼が前年より5組のマイナスで、企業関係の一般宴会も例年より取り込みが少ないなど大変厳しい状況である。
		旅行代理店（店長）	来客数の動き	・来店件数などをみると、国内旅行は前年の愛知万博の影響もあり、前年比で10%程度落ち込んでいるが、販売額では前年並みとなっている。一方、海外旅行については前年を若干上回る傾向にある。
		タクシー会社（経営者）	お客様の様子	・繁華街は若干にぎわいが出てきたが、バスや電車などの公共の交通機関を使って帰る人が大半で、タクシーを利用するまでには至っていない。
		通信会社（経営者）	販売量の動き	・春商戦の盛り上がり方が例年に比べて小さい。
		競輪場（職員）	お客様の様子	・入場者数はやや増加傾向にあるが、購買単価は逆にやや低下していることから、全体の売上に変化はみられない。
		美容室（店員）	お客様の様子	・ゴールデンウィークも海外より近場で過ごす人が多いなど、客の様子にあまり変化はないが、客単価は高くなってきている。
		その他サービス〔学習塾〕（経営者）	来客数の動き	・2月に行った無料体験キャンペーンへの参加者の入会率が良かったため、生徒数が昨年に比べて約1割多くなっている。今月から週3日の授業数を週4日に増やした。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他サービス [フィットネス クラブ] (ス タッフ)	来客数の動き	・入会金無料のキャンペーンを行っているが、新規会 員数がなかなか思うように増えない。
		住宅販売会社 (総務担当)	販売量の動き	・日銀によるゼロ金利解除を控えた駆け込み需要を期 待したが、現在まであまり動きがみられない。
	やや悪く なっている	商店街(代表 者)	お客様の様子	・悪いままで変化がない。春商戦も結果が出ず、大変 厳しい結果が続いている。
		一般小売店[衣 服] (経営者)	販売量の動き	・3、4月は販売量、売上金額共に前年割れである。
		一般小売店 [コーヒー] (営業担当)	単価の動き	・原油価格高騰の影響で各種商品の値上げを決定した ため、売上に変化はないものの販売件数の減少がみら れる。値上げ前に一時的な駆け込みの注文はあったも の、しばらくは買い控えが続く。
		百貨店(売場主 任)	販売量の動き	・宝飾品や食料品などの売上はやや上向き傾向にある ものの、気温の低さや雨が多いといった理由で、衣料 関係の売上が非常に悪いことから、全体的にみるとや や悪い状態である。
		百貨店(企画担 当)	お客様の様子	・年明けまでは好調だった外商での法人需要である が、勢いに陰りがみられる。
		スーパー(広報 担当)	販売量の動き	・気温が低かった影響で、衣料品や住関連品の季節品 を中心に苦戦した。
		コンビニ(経営 者)	来客数の動き	・コンビニエンスストア業界全体の売上が、伸び悩み というよりも下降中と報道されているように、状況は 思わしくない。気温や天候の問題がかなりあったもの の、来客数だけでなく単価も悪化気味であり、本当に 必要なときに必要な物だけを買うという傾向が強い。
		コンビニ(店 長)	販売量の動き	・既存店売上の前年比は、2月がマイナス0.7%、3 月がマイナス0.4%、4月が25日現在でマイナス3.3% となった。3～4月は前年よりも気温が低く、雨が多 かったため、飲料関係の売上の減少が大きく響いた。
		衣料品専門店 (経営者)	お客様の様子	・4月は天候の影響で、春物の売上が昨年より多少少 なめで推移した。しかし、単価の高い商品が少し売れ るようになってきた。
		住関連専門店 (店長)	販売量の動き	・4月は季節的に売上が落ちる月ではないのに、客か らの問い合わせが減っているほか、受注も少なくなっ ている。
		観光型旅館(経 営者)	来客数の動き	・客単価は少々上向きではあるが、ガソリンなどの値 上がりの影響で、村外の一般利用客が前年と比べて減 少している。
		観光型旅館(経 営者)	来客数の動き	・例年4月は客の動きが少ない時期だが、今年は大型 連休を前に動きを控えているせいか、特に動きが少な い。
		タクシー運転手	競争相手の様子	・最近ではオフィスビルの前にタクシーを停車させてい るが、以前の夕方5時ではなく6時ごろから人の出入 りが多くなる。これは残業が増えている証拠である が、客の動き自体は6時以降でも少ない。
		タクシー運転手	お客様の様子	・大阪はタクシーの台数が多く、客の数とのバランス がとれていない。
		遊園地(経営 者)	来客数の動き	・例年にない天候不順が続いているため、過去にない 来客数の減少となっている。
		美容室(経営 者)	来客数の動き	・天候の影響で客の外出する機会が少なく、身なりを 整える必要がなかった。
		美容室(店長)	販売量の動き	・今月は寒くて日ざしの弱い日が多かったため、セッ ト販売を行っているホワイトニング化粧品の売行きが 悪く、昨年と比べて売上が50～60万円減少した。
		住宅販売会社 (経営者)	販売量の動き	・都市圏の活況に比べて、周辺部ではその影響がまだ 表れていない。
	悪く なっている	一般小売店[衣 服] (経営者)	販売量の動き	・販売量や来客数が減少しているが、それがすべて寒 さによるものかどうかは分からない。ただ、ここ数日 は温かい日になると来客数、販売量共にいくらか増え たので、寒さによる影響は大きい。
		企業 動向 関連	良く なっている	金属製品製造業 (管理担当)

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明		
やや良くなっている		化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・得意先の業種にかかわらず、昨秋から全体的に荷動きが悪くなっていたが、ここに来て全業種の荷動きが少し活発になってきた。しかし、各得意先と話をしても先行きの不透明感が強いことから、昨年と同様に、いつ荷動きが止まるか分からないという不安は残っている。		
		その他製造業〔履物〕（団体役員）	取引先の様子	・取引先である百貨店での売行きが堅調であった。		
		建設業（経営者）	それ以外	・会社、個人共に銀行の融資が受け易くなっている。		
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・土壌汚染調査のニーズが増えつつある。		
		輸送業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・大手住宅メーカーからは、新たな輸送の依頼が年度末から新年度にかけて徐々に出てきている。さらに、一般荷主の荷物量は増加が続いている。		
		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・第三のビールの増税を控え、酒類の配送が増えた。		
		不動産業（経営者）	取引先の様子	・規模の大きな工場用地や配送センター用地の購入希望が多くなってきた。		
		不動産業（営業担当）	取引先の様子	・引き続き土地の値段は上がっているが、事務所の賃料などの値上げまでには至っていない。景気はやや上向きではあるが、それほど強い状況ではない。		
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・ゴールデンウィーク前の販促活動で受注が増えてきているが、2月のバレンタインの時期と比べると、販売量はさほど変わらない。		
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・広告料がインターネット広告を中心に倍増している。		
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新聞広告の出稿が4月以降活発である。		
		その他非製造業〔民間放送〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・4月のテレビスポット広告は記録的な売上となった。また、春の労使交渉も例年になくスムーズに終わった。		
		変わらない		食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・ゴールデンウィーク前とあって荷動きは良くなっているが、月前半の荷動きがあまり良くなかったため、景気が良いのか悪いのかは判断が難しい。
				食料品製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・菓子業界は例年ゴールデンウィーク前になると受注量が大幅に伸びていたが、今年は全く伸びていない。
繊維工業（総務担当）	受注量や販売量の動き			・当用買いの増加で、得意先からの注文の予定が立てにくい状況である。注文数は前年よりも20%強減っている。		
窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き			・受注が増えるどころか、下降線をたどっている。		
金属製品製造業（経営者）	取引先の様子			・海外で組立てを行っている自動車の部品の生産が大変忙しい。生産設備の増強もあるなど、自動車に関連した業種は大変な活況となっている。		
金属製品製造業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き			・原材料の値上がりに伴って、製品の見積価格の値上げを打ち出しているが、どこまで浸透するか分からない。		
一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き			・ここ数か月は受注が大変順調で、短期的にみると大変好調であるが、今月もこのような良い状況が続いている。		
一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き			・年内の生産分は受注済みであるほか、追加の商談が入っている。		
建設業（経営者）	受注量や販売量の動き			・官庁関係の工事が減少傾向にある。民間工事は増えつつあるが、厳しい価格競争が続いている。		
輸送業（営業所長）	受注量や販売量の動き			・今はゴールデンウィーク前の駆け込み的な配達依頼が多いが、普段の稼働に変化はない。		
新聞販売店〔広告〕（店主）	受注量や販売量の動き			・読者の拡張活動に力を入れても、今までの購読が止まっていくので、読者数が伸びない。しかし、折り込み広告の動きが堅調なので助かっている。		
コピーサービス業（従業員）	受注量や販売量の動き			・各社とも年度末決算を終え、確定後の決算書類などの作成が始まっている。例年どおりのペースで入稿しているが、部数の減少がみられるほか、年度初めが土日だったこともあり、各社からの印刷の依頼が多少遅れている。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他非製造業 [機械器具卸] (経営者)	取引先の様子	・一部のユーザーの動きは良いが、全体的に金物屋や中小の鉄工所などの動きは良くない。
	やや悪くなっている	金属製品製造業 (営業担当)	受注量や販売量の動き	・建築業界向けの販売状況が悪い。
		電気機械器具製造業 (宣伝担当)	受注量や販売量の動き	・HDD付きレコーダーは堅調な荷動きであるが、好調であった薄型テレビなどの荷動きが一段落するなど、全体的に荷動きが鈍化傾向にある。
		その他製造業 [事務用品] (営業担当)	受注量や販売量の動き	・例年は新入学の時期ということもあり受注量は増えるが、今年は前年よりも10%ほど落ち込んだ。
	悪くなっている			
雇用関連	良くなっている	職業安定所(職員)	求人数の動き	・新規求人数は45か月連続で増加しており、有効求人倍率も上昇していることから、改善傾向が続いている。
		民間職業紹介機関(営業担当)	求人数の動き	・学生の就職内定数や企業の採用数が増加している。
	やや良くなっている	職業安定所(職員)	求人数の動き	・新規求人数、有効求人数共に前年比で2けたを超える大幅な増加となっているほか、有効求人倍率も11か月連続して前年を上回るなど上昇傾向にある。
		職業安定所(職員)	雇用形態の様子	・求人数は横ばい傾向だが、最近では求人への応募が少なくなってきたので、求人企業が来所して求職者の紹介を依頼するケースが増えた。また、非正社員から正社員への求人条件の変更や、将来正社員への登用が可能との条件が追加されるケースが増えた。
		職業安定所(職員)	求人数の動き	・新規求人数が前年比で約23%の増加となっている。
		職業安定所(職員)	求職者数の動き	・新規求人数は増加傾向を維持している一方、求職者では雇用の安定を希望する在職求職者が増えている。
		学校[大学] (就職担当)	周辺企業の様子	・来校社数、採用予定数共に大幅に増加しており、企業の採用意欲は確実に上向いている。特に、技術系では時期を問わず選考するので、相談があれば紹介して欲しいとの希望が多く出ている。
		学校[大学] (就職担当)	採用者数の動き	・平成18年3月の卒業生は就職決定率が過去最高となった。また、採用依頼件数が大幅に伸びている。
	変わらない	人材派遣会社 (経営者)	それ以外	・毎年4月には派遣料金の改定が行われるが、大手企業には前向きに検討してもらえるものの、関西は中小企業が多く、特に大阪は厳しさが目立つ。世間で言われるほど甘くないのが現状である。
		人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・各企業共に新入社員の採用が多く、派遣の依頼は一段落といった感がある。
		求人情報誌製作会社 (営業担当)	雇用形態の様子	・新規学卒採用の増加は依然として顕著であるが、正規社員と非正規社員のミスマッチがあるほか、地域格差によるマッチングの難しさが加わり、採用戦線の過熱は一部にとどまっている。
		新聞社[求人広告] (担当者)	求人数の動き	・前年に比べるとかなり良くなっているが、前月とは変わらない。売手市場といわれているものの、各企業は予算の減少で無料媒体や安価な媒体を活用する傾向があり、新聞求人広告は横ばい状態である。
		新聞社[求人広告] (担当者)	それ以外	・企業の新聞広告の出稿は前年を下回っている。
		新聞社[求人広告] (営業担当)	求人数の動き	・求人広告に関する電話での問い合わせが増加している。また、中小企業の人々の動きもやや活発化しているほか、3、4月については、求人数が前年比100%強で推移している。
		新聞社[求人広告] (営業担当)	求人数の動き	・銀行、損保、生保などで事務系の募集が活発になってきたが、応募者が少ない。
		民間職業紹介機関 (職員)	求人数の動き	・季節的要因もあって求人の落ち込みは激しいものの、回復基調は維持している。
	やや悪くなっている			

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	悪く なっている	-	-	-

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている			
	やや良く なっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・以前に比べ、人の出が良くなってきた。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・暖かくなってきたこともあり、来街者は大変多くなっている。客の動きそのものは上向きになっているようだが、客単価は相変わらず低い。売上としては、微増というところである。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・販売額が徐々に伸びてきている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・ここ数か月、販売点数が前年比103～104%と前年を上回っている。
		スーパー（店長）	単価の動き	・客単価は上昇しつつある。同じ商品で、高価格のものと低価格のものを揃えると、高単価のものが良く売れている。
		スーパー（販売担当）	競争相手の様子	・客の買上点数が増加した。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・売上はアップして前年を軽くクリアできる見通しである。既存の店舗の売上回復によるものと思われる。来月にかけての受注状況も安定しており、既存店の定番商品がかなり動き出している。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・サッカーワールドカップ、地上デジタル放送を控え、テレビ・DVDプレーヤー等の動きが良い。
		自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・来客数も順調に推移してきており、ETC車載器の動きも引き続き良い。また当方からの働きかけもあるが、加えてオイル交換等ビットサービスも増加傾向にある。
		一般レストラン（店長）	来客数の動き	・メニュー変更で、価格を上げたが客数減になるどころか客数増で、我が社は良い結果になっている。
		スナック（経営者）	それ以外	・暖かくなり、客の動きが少し出てきた。歓迎会等の流れで、少し来客数が増えた。
		その他飲食〔ハンバーガー〕（経営者）	単価の動き	・引き続き客数は二けたの伸びを示しており、客単価は下げ止まってきたため、売上に好影響を与えており、久しぶりに二けたの増収になりそうだ。
		観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・3か月前に比べて、地元企業の利用等が増えおり、回復の兆しがみえている。
		観光型ホテル（経理総務担当）	お客様の様子	・来館して予約する客が増加している。
		都市型ホテル（総務担当）	販売量の動き	・一般宴会において、新規受注が増加傾向にあり、全国大会的なものも入ってきている。また婚礼においても、若干ではあるものの客単価が増加傾向にある。総じて景気上向き傾向にある。
		タクシー運転手	販売量の動き	・この3か月間は、売上が前年比102%前後と地道に向上している。特に4月はそれ以上の伸びをみせ、景気が良くなっていることを実感している。
		タクシー運転手	販売量の動き	・過去4か月と比べて業界全体に若干の伸びがある。観光・個人需要どちらも動きが良い。観光については、昨年度に比べて回復の兆しをみせ、動きが活発化している。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・単価は低下する傾向だが、数量は増加している。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・相変わらず競合店が多く、値引きも厳しいが、一時よりは良くなっているように感じられる。
	設計事務所（経営者）	お客様の様子	・2～3か月前に比べて契約件数が少しずつ増加してきている。	
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・展示場への来場者数が、徐々にだが回復基調にあり、ようやく受注に反映されだした。また、物件の流通も動きがみられるようになった。	
	住宅販売会社（経理担当）	来客数の動き	・モデルルームへの来場者数が増加傾向にあり、契約戸数も1～2月の実績を上回ってきた。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・4月前半は順調であったが、後半は天気の崩れとともに客足が落ちた。
		一般小売店〔印章〕（営業担当）	来客数の動き	・昨年同様、月初めは会社の異動等で多少動きがあったが、中旬以降はあまり活気がなく、来客数も少ない。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・気温が不安定で、客は今何を購入したら良いかわからない様子である。春物が2月3月に好調であった反動が大きく、4月になっても初夏物の動きが悪い。
		百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・ファッション部門は一斉に初夏物へ品ぞろえを変更したが、4月に入り日々最高気温が前年より5～7度低く、肌寒い日々続いたため、婦人服がミセス中心に低迷が続いた。またカジュアルウェアについては価格に対してもシビアな購買姿勢が見受けられる。
		百貨店（売場担当）	販売量の動き	・4月に入り3月までの勢いはなくなり、好調であったウエッジサンダルも一時休止のような状態になってきた。市内の各店の状況も前年比89%から95%の状況で前年を上回る店がない。
		百貨店（売場担当）	お客様の様子	・担当売場の中でも、好調なアイテムと不振なアイテムが明確に分かれており、総じて言えば前年と変わらずといったところである。ただし、例年よりも若干気温が低いこともあり、初夏物の動きが鈍いようである。
		百貨店（売場担当）	販売量の動き	・今月は気温の変化が大きく心配されたが、夏物を求める客が多かった。
		百貨店（売場担当）	来客数の動き	・今月は天候が悪く来客数は減少した。特に週末の雨は影響が大きかった。
		百貨店（購買担当）	お客様の様子	・3か月前に比べると良くなっている。ただし、先月がかなり好調で全館的に売上も良かったのに対し、今月は気温の変化が大きく客の衣料に関する購買意欲が低い。また今月は物産展を開催しているが、こちらは好調で行列ができるほどの賑わいをみせているが、それ以外のファッション関係等については、まだまだ財布のひもがかたいという状況である。
		スーパー（店長）	競争相手の様子	・ショッピングセンター開店後1か月が経過し、チラシでの価格訴求がさらに強まっている。午前中と夕方のタイムサービス、日曜日だけのチラシ投入等、競争は激化している。
		スーパー（店長）	単価の動き	・3か月前と比較して、来客数および一人当たりの買上点数ともに、変化はない。
		スーパー（店長）	単価の動き	・売上においてはほぼ100%となっているが、依然として単価ダウンの下げ止まりという傾向で、前年比96.8%と非常に低い状況になっている。客単価も前年を割り込んでおり、競合店との相殺を考えても、まだまだ景気の回復にはいたっていない。
		スーパー（総務担当）	単価の動き	・青果物の単価が低下したままである。販売点数の高い分類なので、売上高減にそのまま直結している。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・今月は花見や行楽シーズンであったが、まとめ買いの客は少なく、単価も上がっていない。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・今月は天候のせい花見客の来店も少なく、その後も気温が低いせいか客足も伸びず、特に飲料・ビール・アイスクリーム等の動きが悪かった。
		衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・4月は例年になく気温が低く、来客数・販売量・販売点数ともに、悪い状況であった。特に春夏物の全アイテムが低迷している状態である。
		衣料品専門店（販売促進担当）	来客数の動き	・今月は来客数は落ち込んでいるが、季節の変わりめということもありボトムスが好調である。まだまだ本格的に暖かくないため、夏物商材の数が出ていないが、客単価が高いため売上は昨年並みである。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・4月は不順な天候が続き、地方選挙の影響もあってか来客数が昨年より減少した。ただし、売上高は昨年とほぼ同額であった。
		家電量販店（予算担当）	販売量の動き	・先月は、計画比・前年比ともに好調であったが、今月は若干緩やかな動きで推移している。これは年末セールや年度末セールなどが非常に好調であり、その反動があったためと考えられ、景気や消費が後退したとは考えていない。
		乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・3月は客の動きも活発であったが、4月に入り客の動きが鈍くなった。また、市場も前年割れという状況で、景気が良いとは肌で感じることはできない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		乗用車販売店（統括）	お客様の様子	・商品に影響されるので一概には言えないが、来店客も単価もあまり変化がない。また、購入までの期間が長いようで、資料請求はあるがすぐに購入に至るケースが少ない。
		住関連専門店（広告企画担当）	お客様の様子	・単価の高い客と低い客の差が激しくなっている。
		その他専門店〔スポーツ〕（店長）	来客数の動き	・DMを送付しても来客数が増加することがなかった。
		高級レストラン（スタッフ）	単価の動き	・一般の宴会は単価的には動きはないが、婚礼については若干の単価アップが見受けられる。
		都市型ホテル（従業員）	来客数の動き	・休祝日の来客が増加するなど来客数にメリハリは出てきたが、総来客数は増えていない。
		都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・宿泊は前年に比べ客数は増えているが、客単価が低下しているため、売上は伸びていない。少しでも安い施設を探している客が増加している。
		旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・新年度に入り、客の動きは徐々に活発になってきているが、受注額については前年度とあまり変化がない。これから、どれだけ受注量が伸びるか不透明である。
		タクシー運転手	販売量の動き	・2～3か月前と比べて、利用件数・客数・客単価もあまり変わっていない。決して景気が良くなったとは言えないが、ここ半年くらい現在の水準で安定している。夜の繁華街の人出は多くなった。
		通信会社（経営者）	お客様の様子	・新規加入契約が依然増加せず、解約数も増加したままで推移している。
		通信会社（社員）	お客様の様子	・年度始めの異動時期のためか、当社サービスの会員の退会が多くあった。一時的なものと思うがしばらく様子を見ている段階である。
		通信会社（社員）	販売量の動き	・3か月前と比べて、販売量・来客数ともに変わらないが、前年対比でみると毎月悪くなっている。
		通信会社（通信事業担当）	販売量の動き	・引越しシーズンの転入・転出による、新規加入や解約数が、例年よりかなり少なかった。
		通信会社（総務担当）	お客様の様子	・来客数の動向等あまり変化がないように見受けられる。
		通信会社（販売企画担当）	販売量の動き	・新生活の商戦期の名残で、4月上旬まで販売数は維持できた。
		テーマパーク（財務担当）	来客数の動き	・団体客が見込める時期であるが、予約自体も低調であり、また個人客も伸び悩んでいる状況が続いており、上向き傾向はみられない。
		競艇場（職員）	来客数の動き	・来客数に比例して、売上も横ばい状態である。
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・商店街への来客数の減少は止まらず、背筋が寒くなるような思いである。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・近隣に競合店がオープンし、そのオープンに伴う既存の競合店のチラシ攻勢により、バーゲンハンターがあらゆる店を買いまわっている状況である。そのため、日ごとの客数がよみづらく、結果として客数減になり苦戦している。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・ここ2～3か月同じような傾向で、前年より来客はあるようでも売上につながらない。
		衣料品専門店（地域ブロック長）	販売量の動き	・例年に比べて気温が上がってこないため、初夏物の動きが悪かった。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・デジタル化に対する知識は浸透したが、購買にはいたってない現状である。
		家電量販店（店員）	来客数の動き	・客単価が低下している。前年と比べても、客数も減少し、安価な商品ばかりが売れている。
		乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・4月の販売台数は前年比96%と大変厳しい状況となっている。
		乗用車販売店（販売担当）	お客様の様子	・車検時に、部品の不具合が多数あり整備料金が嵩むような場合、これまでだったら買い換えをしていた客が、整備して引き続き乗り続ける傾向が多くみられるようになった。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・販売実績で前年比90.8%と大変厳しい状況が続いている。
		その他専門店〔時計〕（経営者）	販売量の動き	・販売量とともに単価も低下している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	悪く なっている	タクシー運転手	お客様の様子	・昨年の4月は少し良かったが、今年は市議会選挙が始まり、夜の客の動きが大変悪かった。
		テーマパーク (業務担当)	来客数の動き	・3月下旬から4月上旬の天候不順に加え、隣接地域に相次いでオープンした観光施設の影響もあり、今月の来客数が大幅に減少している。
		設計事務所(経営者)	お客様の様子	・顧客の購買意欲が減少しており、ひたすら出費を抑えようという守りの姿勢が継続している。
		百貨店(販売担当)	来客数の動き	・4月中旬までは前年をクリアしていたが、後半は気温の低下の影響もあり、最終週は来客数が前年の90%代と大きく低迷した。
		乗用車販売店(サービス担当)	販売量の動き	・販売量が前年と比較して80%ぐらいに落ち込んでいる。当店だけでなく全体的に落ちているようである。店頭客もかなり減少している。
		テーマパーク (広報担当)	来客数の動き	・春だというのに気温が上がらず、行楽シーズンがきたという感覚がない。客もそのように考えているようで、さっぱりである。
企業 動向 関連	良く なっている	輸送用機械器具 製造業(経理担当)	受注量や販売量の動き	・身近で変化が起きている。4月は3月決算期の反動で受注量が減るのが通例であったが、今年は例年では残業なしが通例となっている日でも製造部門はフル残業である。
	やや良く なっている	化学工業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・大口取引先から数年先までの大口受注が見込まれ、それに対応すべく設備投資も検討する段階に入った。
		窯業・土石製品 製造業(総務経 理担当)	受注量や販売量の動き	・大口案件の追い込みと次の大口案件の生産着手で生産はここ最近では最高水準である。このため製造現場は残業プラス公休出勤で対応、多忙な状態である。
		電気機械器具製 造業(総務担 当)	受注量や販売量の動き	・自動車関連は国内・欧米・中国で好調な受注が入っている。携帯関連は、春モデルが落ち着いてきたものの海外向けを中心に受注安定化している。夏にむけてのエアコンの受注が入り始め、とくに昨年ヨーロッパの猛暑から海外向けが好調の兆しがみえている。
		その他製造業 [スポーツ用品] (総務担 当)	受注量や販売量の動き	・特に春物から受注量は少しずつ上向きだしてきている。しかしながら価格は海外がらみがあり、据え置きまたは多少押さえ気味となっている。
		建設業(営業担 当)	取引先の様子	・デベロッパー・物販関係・製造業からの見積依頼が多くなっている。
		金融業(業界情 報担当)	取引先の様子	・輸出を中心とした主力車の販売好調を背景に、生産はフル操業を持続中である。原油高に伴う原材料費上昇は依然として続いているが、徐々に製品価格への転嫁も進んでおり、収益面も改善傾向にある。
		金融業(営業担 当)	取引先の様子	・3月4月と年度替わりの時期であったが、企業の売上は例年ほどの落ち込みはなかった。ただしこの2~3か月は安定して仕事があるようだが、ガソリンの高騰等で、収益の低下は避けられない企業が多いのも事実である。
		不動産業(経営 者)	取引先の様子	・部屋の動きが少しずつ良くなりつつある。金融機関の貸出しが少し緩和されたような感じで、土地・建物の販売も取引がやや活発になりつつある。
		その他サービ ス業[清掃具レ ンタル](情報管 理担当)	受注量や販売量の動き	・健康に対しては、少々高額でも効果のある商品を選ぶ傾向である。価格だけではなく、機能がともなえば正当な価格を認めてもらえるようになってきた。
変わらない	化学工業(総務 担当)	受注価格や販売 価格の動き	・生産量、出荷量共に先月と大きな変化はなく安定しており、社内は全般に高稼働率である。物流費・原燃料費高騰の影響を受けながらも好景気(販売価格の上方修正等)の影響で、利益が出ていると思われる。	
	金属製品製造業 (総務担当)	取引先の様子	・得意先からの増産要請があり、連休中に設備投資を予定している。ただし、人員は現状のままとし、固定費は増加させない方向である。	
	一般機械器具製 造業(経営企画 担当)	それ以外	・国内での自社製品の売上が好調に推移しているものの、生産資材の高騰により生産コストの悪化が懸念される。	
	輸送用機械器具 製造業(経営 者)	受注量や販売量の動き	・自動車部品製造の業務請負業を行っているが、ここ半年くらい受注量も安定し、むしろ増加している状況が続いている。	
	輸送用機械器具 製造業(総務担 当)	受注量や販売量の動き	・引き続き受注量・受注価格ともに横ばいの状況で推移しているが、原材料等の価格は高止まりからさらに上昇する傾向にあり、採算的には非常に厳しい状況が続いている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・建設不動産関連では、まったく良い材料はみえず、悪いまま推移している。受注量も少なく、競争も激しくなっていて、価額も利益も少ないまま推移している。
		通信業（営業企画担当）	受注量や販売量の動き	・法人向け通信サービスは相変わらず高品質・高価格商品から低価格商品へ移行する形態の受注が主体であり、ここしばらく大きな変動はない。専用線は悲観的予測ほどには減少していないものの、移行商品の受注量は売上減を食い止めるまでに至っていない。
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・地元の首長選挙の結果、地元振興策が頓挫するのではないかという懸念が広がっている。広告業界にも影響が大きい。
		会計事務所（職員）	取引先の様子	・建設、運送業関係は思わしくないが、製造、販売といった業種の売上高は伸びている。ただし、そういった業種も利益率が低下気味のところが多く、業績面ではあまり順調とは言いがたい面がある。
	やや悪くなっている	食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・ここ数か月、受注発注が減少している。売上も2～3年前に比べて、かなり減少している。
	悪くなっている	農林水産業（従業者）	それ以外	・4月と3か月前の1月を比較すると、水揚数量で757tの減少、水揚金額で1億300万円の減少となった。水揚数量の減少原因は、大中型巻網船・大型小型定置網の減少によるもの。水揚金額の減少原因は、沖合底引網・小型底引網・大型小型定置網が減少したためである。また、4月単月の前年度対比では、水揚数量で1059tの減少、水揚金額では2億1千万円の減少。水揚数量の減少理由は、沖合イカ釣り漁の減少によるもの。水揚金額の減少理由は、小型底引網・沖合小型イカ釣り漁が減少したためである。
雇用 関連	良くなっている	求人情報誌製作会社（支店長）	求人数の動き	・最近、求人数の伸びが顕著になってきている。
		学校〔大学〕（就職担当）	周辺企業の様子	・各企業、業界でまんべんなく採用意欲が出ている。昨年度より内々定が半月程早まっているようである。人材不足の影響ということもあるかもしれないが、やはり景気はかなり上向いている。
	やや良くなっている	求人情報誌製作会社（担当者）	採用者数の動き	・求人広告の問い合わせが増加している。
		職業安定所（職員）	採用者数の動き	・求職者の活動も活発になり、紹介件数・就職数とも大幅に増加している。また、新規求人数もパートより一般求人が増加傾向にある。
	変わらない	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・企業をまわっている担当者のお話でも、前向きな明るい企業活動に関する話が少ない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人は、衣服小売業や各種商品小売業で新規オープンに伴う大量求人があったものの、建設業やサービス業での減少がひびき、全体では減少傾向となった。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数が、前年同月および3か月前に比べて増加している。地元大手化学メーカーから、再び大口の求人が提出されている。
職業安定所（雇用開発担当）		求人数の動き	・新規求人数は全体として前年比で増加しているものの、派遣業からの求人・パート求人の増加が要因であり、力強さが感じられない。	
	民間職業紹介機関（職員）	雇用形態の様子	・年商150億円強の地場大手企業からの求人で、事務職でもかなりの中核になる職種なのに「今回は正社員ではなく派遣社員」の求人になった。多少の景気の回復はあってもなかなか安定雇用にはつながっていない。	
	やや悪くなっている	-	-	-

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	悪く なっている	-	-	-

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている			
		商店街（代表者）	来客数の動き	・春休み期間中は人出が多く、春休み終了後も、商店街の近隣で行われているイベントが観光客でにぎわい、通行量が増加している。
		一般小売店〔酒〕（販売担当）	販売量の動き	・人事異動や新入社員の歓迎会などで、料飲店向け販売量は3月に引き続き前年比をクリアしている。酒税改正の影響で、第3ビールの需要も、ほぼ見込みどおりであり、店頭販売も好調である。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・客の品物に対する見方が以前とやや変化し、高額品に関心が向いており、買物比率が上昇している。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数は伸びているが、客単価は伸びていない。必要な物以外は購入しない傾向になっている。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・海産物コーナーのマグロの刺身でも、冷凍解凍品（価格が安い）・中トロ・大トロなどを同じ売場で展開しているが、最近では中トロなど比較的価格の高い商品の動きが良くなっている。
		スーパー（予算担当）	競争相手の様子	・3月決算の発表数値を見ると、おおむね好業績である。衣料品業界は厳冬の影響で、冬物在庫が処分できているので、在庫回転が良くなっている。
		コンビニ（店長）	それ以外	・来客数及び売上高については、厳しい状況であるが、従業員、アルバイトから就職の状況が今年は良いという話を聞くため、良い方向に向いている。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・大型連休を控えて個人を中心に旅行相談、申込が多くなっており、国内では沖縄・東京ディズニーランド・山陰の温泉、海外ではヨーロッパ・アメリカなどの関心が高くなっている。5月、6月は団体旅行のシーズンでもあり団体旅行の相談も増えている。社内旅行を復活させた会社もあり、景気が良くなってきている事を実感させる。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・今月は、土日・平日の来客数が順調に伸びており、昨年よりも良い状況になっている。
その他住宅（住宅ローンセンター）	販売量の動き	・高価な買物にもかかわらず、マイホームを購入する顧客が増えている。景気の底が見え、上向きに向かっているという期待感が広がっている。		
変わらない		商店街（代表者）	来客数の動き	・商店街の通行量の減少が大きくなっている。
		百貨店（営業担当）	それ以外	・来客数及び売上高共に前年を下回り、低調な結果である。婦人靴・ファッションパーツ・プレタ・メンズなどファッション関連が苦戦し、来客数の減少に伴い食品も前年割れとなり、総じて低調な月である。
		スーパー（統括担当）	来客数の動き	・来客数は前年と変わらないが、販売単価が下がり、販売総額が減少している状況が続いている。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・愛媛県では、出店競争、過当競争の中で、特に既存店において業績が悪化しており、景気の浮揚感は感じられない。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・寒い日や雨の日が多く、期待するほど来客数が伸びず、ゴールデンウィークに向けたトラベルニーズへの訴求も結果が出ず、低調に推移している。
		乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・当社の3月決算期を終え、少し販売量と客の動きが落ち着いている。近年、新卒需要（就職・進学）もあまり期待できないのが現状である。
		乗用車販売店（管理担当）	販売量の動き	・成約が低調である。
		観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・全国的に、景気は少し上向きの状況にあるようだが、単価も販売量も増加していない。海外旅行は増加しているようだが、国内旅行は増加しておらず、特に四国地域は全国と比べてそれほど良くなっていない。
		都市型ホテル（経営者）	単価の動き	・高知県では、販売単価は下げ止まっておらず、来客数も、以前と比べて減少している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		観光名所（経営者）	来客数の動き	・観光客が団体からグループ、家族連れに変わってきている。
		設計事務所（職員）	単価の動き	・日常品の単価、飲食代金については、下げ止まっているようであるが、郊外の宅地の土地単価や建設単価などは、下げ止まっていない。景気は良くなっているとのことであるが、実感できない。
	やや悪くなっている	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・例年4月は春物と初夏物の動きが良い月であるが、今月は、気温が低かったことと週末に雨が多かったことで、初夏物の動きが悪く、また、近隣に大きなショッピングセンターがオープンした影響もあり、苦しい状況である。
		家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・来客数は確保できているが、冷蔵庫、エアコンなどの高額商品の動きが悪く、前年の85%となっている。原油高騰の影響もあるのではないかと。
		乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・アフターサービス関連の客は増大しているが、車両購入の客は前年割れを続けている。
	悪くなっている	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・今月は雨がが多く、気温が低かったことが影響している。
企業動向関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・景気回復の兆しが見られる中、従来の百貨店のタオル売場、外商などの売上高は今一つであるが、一般小売店の売上高は好調である。消費者が商品や購入場所を選択しており、消費傾向にバラツキが見られる。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・クレーンの稼働率は、高稼働で推移しており、引き合いも活発であるが、生産能力が追いつかず、納期までの期間が長びいている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・VTR関係、電気、ダイオード関係から問い合わせ、契約が増えている。
		通信業（営業担当）	それ以外	・大型量販店、スーパーマーケットの経営層、マネージャーとの会話の中で、「例年より売行きが良い」、「特に高額の商品から売れている」、「客の購買決定が、昨年までは、値引き表示をするまで待っていたのが、価格より好みの商品中心に購入の判断をしている」と聞く事が多くなった。
		広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・新規受注の話が具体的にようになってきている。大型設備の導入も決まり、売上を伸ばしてゆくための材料がそろった。
		公認会計士	取引先の様子	・最近の各取引先の資産表や決算書を見ると、前年比でプラスになっている企業が60%ぐらいになっており、景気はかなり上向きになってきている。
	変わらない	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・受注の結果、関東・東海・関西が堅調である。原油価格高騰の影響がまだ実績面にあらわれていないこと、東海・関西地区の排ガス規制による買換え需要が堅調だったためである。
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・取引先が県外にある一部製造業では、好調に推移しているが、県内を経済基盤とする企業は、売上、単価とも低迷している。
	やや悪くなっている	食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・新商品の売行きが悪く、既存品も基本的に落ちているため、売上が良くない。
		輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・大口荷主の物流がグループの再編による拠点変更になり、物量、収入とも落ち込んでいる。
	悪くなっている	木材木製品製造業（経営者）	取引先の様子	・建材業界では、総合建材メーカーの荷動きが悪くなっている。12月、1月の着工数が減少したことが一番の原因であるが、季節的な要因も影響している。
建設業（総務担当）		受注量や販売量の動き	・手持ち工事残高が極端に落ち込んでおり、受注獲得に積極的に取り組んでいるが、採算ラインを下回る価格を提示しても落札が難しくなっている。	
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（支店長）	雇用形態の様子	・実際の派遣の要望というより、派遣終了後、直雇用、正社員もしくは、契約社員になるという案件が前年比で増加している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数は、最近3か月、前年比10%以上の伸びが続いている。
	変わらない	人材派遣会社（支店長）	雇用形態の様子	・派遣人員の要望は多いが、その発注動機は欠員補充がほとんどで、増員している企業は少ない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・広告に限っては、4月は新規予算の立ち上げのため、広告は多くなければならないのであるが、先行きの不透明感のため、広告の出し渋りが多くなっている。今後、上昇することを期待したいが、新たな広告機会、事業、出店が見込めず、悪い傾向が続く。
		学校〔大学〕（就職担当）	採用者数の動き	・採用は結果が出始めているが、顕著な変化はみられない。
	やや悪くなっている	職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・電子部品製造業で派遣や請負が増加し、正社員の雇用が難しくなっている。
	悪くなっている	-	-	-

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連	良くなっている	観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・今月は関東からの客が多数あり、昨年以上の売上が上がった。
	やや良くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・気候も良くなり来客数が昨年にも増して伸びている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・飲食店関係が4月に入り少し良くなってきている。全体的に客の出入りが多くなってきた。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・客の消費に対する意欲はおう盛であった。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・昨年は非常に売上が良かったが、それに比べても今月はそう悪くないので上向きである。
		スーパー（総務担当）	お客様の様子	・衣料品、住居用品、食品とも昨年を上回る売上となり、特に衣料品、住居用品が好調である。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・新たな客層を獲得するため、新入生、新社会人キャンペーン等を実施したが効果としてはあまりなかった。しかし前年比100%の売上を確保した。特に客単価が上昇しており、少しずつではあるが景気回復の兆しが見えている。
		コンビニ（販売促進担当）	販売量の動き	・量販店は前年比0.8%減、コンビニエンスストアが前年比0.05%増、ローカルスーパーが前年比0.6%の減少となった。3か月前と比べても前年を上回ってはいないが、少しずつ改善はしている。
		衣料品専門店（店員）	お客様の様子	・ここ数年セール待ちの客が多く、必要な物をセール時期に求める客が多かった。しかしこの春は正価販売品を求める客が多く、来店数も頻度も増えている。
		衣料品専門店（総務担当）	来客数の動き	・紳士服、紳士カジュアルの売上が前年比38%の大幅増、ヤング婦人服が前年比7%増、ミセス婦人服も前年比6%増と好調である。呉服、宝飾品を含めて全体で前年比3.5%増で推移している。来客数も前年比20%以上と多い。
		家電量販店（総務担当）	来客数の動き	・客の年齢層が幅広くなり、購入単価も上昇しつつある。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（統括）	販売量の動き	・燃料油の元売仕入価格は上昇を続けており、小売価格も上昇しているが、出荷量は昨年と比べて変化がない。5月も元売仕入価格は値上予定なので、4月末の駆け込み需要が少し発生する。客は高くなった商品を購入している感はあるが、しかたないという表情である。
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・予想より来客数が多く、活気づいている。
		一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・新入生の若い女性客が増えた。客単価も若干上がってきている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・全体的に売上也伸びており、今までになく良く動いている。また、会社関係、特に夜の接待も多くなっている。
		競輪場（職員）	販売量の動き	・前年比において発売額の下げ止まりの傾向が見えており、今月の発売も昨年と比べ同程度の水準を保っている。
設計事務所（所長）	来客数の動き	・消費税が将来的に上がることを見据えて、住宅や店舗を変えようかという相談がきている。		
変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・中心商店街は大型店、スーパーマーケットが全部なくなり、人通りが大変悪い。	
	商店街（代表者）	来客数の動き	・春の新入学、フレッシュマンセールを実施したが、来客数は少なかった。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		商店街（組合職員）	それ以外	・市内郡部の商店街のスタンプ事業の売上が激減している。加盟店も減少し、スタンプ事業の存続が非常に厳しい状態である。
		一般小売店〔青果〕（店長）	それ以外	・県内で消費される物に関しては相場が立たないような状況であるが、県外に出荷される特産品、ピーマン、きゅうりについては高値がついている。宮崎の消費分に関してはなかなか上がらないので、3か月前とそう変わらない。
		一般小売店〔鮮魚〕（店員）	来客数の動き	・来客数は伸びず、客単価が変わらないため、売上が落ちている。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・全店で割引催事をやめ、正価販売品の強化策を取り、重点商品、話題商品を展開したが、客の反応は今ひとつであった。強化による正価販売品の伸びはわずかであった。
		百貨店（営業企画担当）	販売量の動き	・初夏物の動きが低調であった。来客数は増加の傾向にあるが、消費の二極化もあり、質は大都市圏へ、価格は最寄スーパーへと地方百貨店のあり方が問われている。
		スーパー（経営者）	販売量の動き	・客単価や販売量は、以前に比べると無駄なものを買わなくなっている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・衣料品の動きが冬からずっと悪く、閉店セールで売上が上がったが、春物衣料は今も苦戦中である。食料品は大型商業施設の影響で前年比95%がやっとで、全体的には前年比90%と厳しい状況である。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・食品も果物を中心に良くないが、衣料品が特に悪い。
		スーパー（店長）	単価の動き	・客単価、商品単価とも前年を下回っている。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・平日の来客数は、ほぼ前年並みであるが、日曜日の来客数が減少しており、厳しい状況である。
		スーパー（総務担当）	単価の動き	・客単価の動きが前年比3～5%程度上昇している。特に、衣料品関係の客単価の伸びが良い。
		スーパー（企画担当）	来客数の動き	・前月の全国チェーンのスーパーマーケットに続き、商圏内に2店舗目のオープンがあった。加えて地場のドラッグストアと食品ディスカウントストアがオープンしており、集客力が低下し、併せて客単価も下がっている。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・高価な新商品を発売しても、それなりの付加価値がついていないと販売数に結びつかない状況である。
		衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・特に変化は感じないが、定年を迎えて「特に洋服が必要なくなった」と言う客が出てきた。その子供たちの年代は若いので、客にはならない。
		家電量販店（企画担当）	来客数の動き	・家電関係で、新製品の薄型テレビが好調であるが、反面普及率の高い洗濯機、冷蔵庫の売上が今一つである。
		乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・販売量が今年に入って伸びると予想していたが、思ったように伸びていない。従って景気が良くなったという実感はない。
		住関連専門店（経営者）	単価の動き	・消費の動きはそこそこあるが、客単価が相変わらず低い。
		高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・4月半ばまではまあまあ良かったが、後半がゴールデンウィーク前ということもあり、会社の接待関係が少なくなり来客数が伸びなかった。
		高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・前年並みの売上が確保できている。
		その他飲食〔居酒屋〕（店長）	お客様の様子	・客が引っ越し、転勤、移動などにより来客数が少ない。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・宿泊者の動向は、直近での予約が多くなっている。宴会・レストランも同傾向である。
		都市型ホテル（副支配人）	単価の動き	・安い単価が定着しており、なかなか単価の上昇が望めない。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・ゴールデンウィークは日並びの良さで昨年の地震による減少から前年比110%の伸びであった。東南アジア、ヨーロッパ、近場の宿泊の動きが良い。
		タクシー運転手	お客様の様子	・昼間の買物客はそう変わらないが、歓楽街がかなり落ち込んでいる。まだ悪化するような状況である。
		タクシー運転手	お客様の様子	・昼のタクシーの動きがだんだん悪くなっているが、夜はあまり変わらない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		タクシー運転手	単価の動き	・人の流れは若干増えてきたが、単価が下がらないのでほとんど変わらない。
		通信会社（管理担当）	来客数の動き	・来客数が落ち着いてきた。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・日並びの良いゴールデンウィークは、宿泊施設やゴルフ場で昨年より予約が増加している。しかし、それ以外の時期が伸びていないので、前年並みの推移である。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・入園者数は前年を上回ることができたが、特に良いという事はない。
		美容室（経営者）	販売量の動き	・春の繁忙期で、客が動く時期であるが、予定していた数字、季節指数を見ても、右肩上がりにはならない。3か月前から大体同じような流れである。
		美容室（店長）	来客数の動き	・売上が悪くなる時期であるが、来客数自体は大きな変化はない。
		設計事務所（代表取締役）	お客様の様子	・建設業界は、住宅やマンションなどの建設業者では、受注増がみられるものの、全体的に仕事量が減っている。福祉関連のサービス事業も、制度の改正により事業単価が低く見直されたことから、事業者としては経営的に厳しくなっている。
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・まだまだ郊外店に客が流れており、中心市街地の来客数は少ない。
	やや悪くなっている	百貨店（営業担当）	競争相手の様子	・大型商業施設がオープンして1年が経つが、中心商店街ではシャッターが降りた店が増えており、その後も新たな店が開店するようなことはない。
	やや悪くなっている	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・今月は動くはずの春物、夏物衣料が非常に低迷した。高額品も前年より売れているが、その他のところが非常に厳しい。従って全体としては苦戦している。
	やや悪くなっている	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・天神地区では、前年に比べ百貨店への来客数が減っている。天候の影響もあるが、高額消費は堅調なもの、ファッションやリビング用品の動きは鈍い。
	やや悪くなっている	百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・バーゲン比率が上がり、定価商品が売れなくなっている。
	やや悪くなっている	百貨店（売場担当）	販売量の動き	・今月の売上高は前年比97%、来客数は前年比98%で2か月連続で前年割れをしている。部門別で見ると紳士服関係、家庭用品関係が悪く、婦人服、子供服関係が昨年並みである。店頭の様子や隣の百貨店の流れを聞いても良くないという状況である。
	やや悪くなっている	百貨店（業務担当）	販売量の動き	・春夏にむけて季節衣料を中心に身の回り品等の動きが、本格化する時期にあるものの、商品の動きに力強さが無い。紳士は良いが、これまで下がり続けた反動増とも言える。総じて婦人物、子供関連の商材が低調である。
	やや悪くなっている	スーパー（店長）	単価の動き	・来客数は横ばいながら、客単価の伸びが落ちてきている。今現在前年比98%と、なかなか消費が伸びていない。特に食料品関係が動いていない。
	やや悪くなっている	スーパー（経理担当）	販売量の動き	・全体的に来客数、販売額ともに低調である。また、衣料品の動きが悪い。
	やや悪くなっている	衣料品専門店（店員）	お客様の様子	・4月初めは、入卒商品の駆け込み需要などで単価も高く好調だったが、中盤からカジュアル衣料が伸び悩んだ。価格にシビアな様子で、気に入ったものだけを単品で買うケースが多く見受けられた。
	やや悪くなっている	家電量販店（店員）	販売量の動き	・さらなる競争の激化が売上や景気を圧迫している現状があり、これからますます厳しさが増していく。
	やや悪くなっている	乗用車販売店（従業員）	単価の動き	・単価の安い1,500CC以下の車の販売が70%位を占め、利益が出ない。
	やや悪くなっている	一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・前半は結構良かったが、後半にかけて来客数が減少している。
	やや悪くなっている	一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・前半こそ入学入園のお祝い等や歓送迎等が例年並みにあった。しかし、後半の週で通常伸びてくる給料日後に、全く来客がなく、ゴールデンウィーク前で少し落ち込むにしても、ひどい落ち込み具合であった。
	やや悪くなっている	通信会社（業務担当）	来客数の動き	・4月は需要期のピークが過ぎ、近隣への競合店舗の出店及び改装もあり、来客数が目に見えて減少し続けている。
	やや悪くなっている	美容室（経営者）	お客様の様子	・来客数の動きにも変化があり、客滞在時間も長くなっている。
	悪くなっている	衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・来客はますますあるが、購入につながらない。春物商戦も悪く、初夏物衣料も売れていない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明		
企業 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	高級レストラン (専務)	乗客数の動き	・乗客数がずいぶん減り、昨年末の予想よりもどんどん悪くなっている。		
		精密機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・今まであまりなかった新製品の仕事が増えてきている。		
		家具製造業(従 業員)	受注量や販売量 の動き	・受注量は確実に増えている。マンションの物件も耐震強度問題があり落ち込むかと思われたが、ホテル、マンションともに、ほぼ計画通り着工している。		
		一般機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・新規受注は、例年この時期は期待薄である。部品製作、型修正でこの時期をしのいでいる状況である。		
		電気機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・受注量は非常に多くなってきており、生産能力のある企業の動きは良い。		
		輸送業(従業 員)	受注量や販売量 の動き	・取引先である飲料メーカー各社の動きを見ると、かなり荷動きが活発なところもある。業界として全体的に上向きで物が良く売れている。		
		金融業(営業担 当)	取引先の様子	・取引先の売上、特に大手の下請の製造業の売上が伸びている。		
		新聞社(広告)	取引先の様子	・取引先の商業施設の様子を見てみると、北九州地区の消費動向も若干ではあるが上向いてきた。		
		経営コンサル タント	取引先の様子	・3月度の決算が4月から上がってきているが、押しなべて昨年よりも数字的には好調である。関係先の表情もおおむね明るい。		
		その他サービ ス[物品リース] (役員)	受注量や販売量 の動き	・契約額が通常4月は3月決算期の反動で急激に落ちるが、本年は落ち込みが小さく前年同期を上回る勢いで推移している。		
変わらない	変わらない	農林水産業(経 営者)	受注量や販売量 の動き	・春先の需要を期待していたが、4月は昨年と比べて若干厳しい。全体需要が落ち込んで一般鶏肉はかなりの在庫になっている。原因としては生産増に対して、消費が落ち込んでいるのに加え、外国からの加熱加工品の輸入増もある。		
		農林水産業(従 業者)	受注価格や販売 価格の動き	・4月に入ってから販売価格の推移は堅調である。原因としては、3月から続く多雨による日照時間不足で収量が減少した事が考えられる。併せて、強風の日が多かったので露地物に影響が出ている。		
		繊維工業(営業 担当)	受注量や販売量 の動き	・受注が伸びている工場が多い。その面では安定しつつあるが、単価の面ではまだ安い。原油価格が高値を更新しているのも気になるところである。		
		窯業・土石製品 製造業(経営 者)	それ以外	・製品の動きはあるが、資材関係の値上がり、特に燃料であるガスの値上がりが厳しく、それが製品に転嫁することができない状況である。経費だけが掛かりすぎて、売上がそれに伴わない。また、現在陶器市をやっているが、昨年と比べて出足、売上が小口化している。		
		窯業・土石製品 製造業(取締 役)	取引先の様子	・全体的には景気が良くなりつつもあるが、やはりメーカーとしては原油の高騰、資材の高騰をカバーできないという状況があり、最終的には現状のままで推移している。		
		輸送業(総務担 当)	受注量や販売量 の動き	・活発な荷動きではなかった。		
		金融業(調査担 当)	取引先の様子	・資金需要が低迷している。		
		金融業(得意先 担当)	取引先の様子	・銀行の貸出の状況についても前月と大きく変わったところもなく、新規需要がない。しかしながら、個人向けに対しては、長期金利の上昇傾向もあり、多少問い合わせ等が多くなっている。		
		やや悪く なっている	やや悪く なっている	農林水産業(従 業者)	受注価格や販売 価格の動き	・輸入の鶏肉なり、加工品が入っており、生産量も潤沢で価格が下がってきている。今後の消費についても低価格志向でなかなか厳しい状況が続く。
				農林水産業(営 業)	受注価格や販売 価格の動き	・不需要期に入り市場相場が下がっている。よって物の価格も損をしながら売らなければいけない状況になっており、景気としては下向きである。
電気機械器具製 造業(経営者)	取引先の様子			・電子部品関連並びに半導体関連等は総合的な面で、大手の動きが非常に鈍くなり、一服感が出ている。また製造業でも、やはりここにきて停滞気味である。		
建設業(総務担 当)	競争相手の様子			・地元でも名の通った会社が、経営不振で倒産した。		
雇用 関連	良く なっている	-	-	-		
		-	-	-		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・昨年の下期から大きく伸張している。最近では仕事よりもスタッフの確保が難しく応募が少なくなっている。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・長期の派遣需要が増えてきている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	採用者数の動き	・求人広告の引き合いが増加してきた。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・平成18年2月の新規求人数は、前年比23.4%増となっており、有効求人倍率は1.26と連続9か月の上昇となった。
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・地域の会議所のアンケート調査でD Iが全業種ともマイナスであったが、マイナス幅が縮小しており、売上、消費、あるいは先行きに期待が現れている。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・求職者数の減少が続いている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・欠員補充より増員の求人が増加している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・12月まで前年比でマイナスであった新規求人数が1月以降プラスに転じている。
		民間職業紹介機関（支店長）	雇用形態の様子	・期間限定の一般的派遣社員需要の堅調さもさることながら、正社員採用（職業紹介）及び紹介予定派遣需要が急増している。
		変わらない	人材派遣会社（社員）	採用者数の動き
求人情報誌製作会社（編集者）	採用者数の動き		・今年に入り、企業の採用が一段と厳しくなっている。特に、フリーターの求人が採用難に陥っている。大手コールセンターの福岡進出による雇用の増大、時給単価の上昇などが影響したものと考えられる。地元の中小企業への影響が心配される。	
やや悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・北九州空港の開港など3月末までに大きな地域イベントが終了し、反動で4月の企業の活動が鈍い。	
悪くなっている	-	-	-	

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連	良くなっている	一般小売店〔衣料品・雑貨〕（経営者）	販売量の動き	・売上高は前年同月比115%で、例年以上に伸びている。観光客の売上は例年どおりだが、地元客の売上が増加しているのが要因である。今後も地元客対象の商品開発を強化していく予定である。
		観光型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・修学旅行の人数の伸びが大きく寄与している。
やや良くなっている		高級レストラン（営業担当）	販売量の動き	・航空運賃の値上げによる観光客減少を懸念していたが、4月もあと数日を残して前年同月比で10%前後の売上増が確定しており、予想に反して好調である。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・連休前は例年来客数が減少するが、今年は例年の107%の来客数である。
		通信会社（店長）	単価の動き	・携帯電話に関しては価格よりも機能を重視する傾向がみられ、客単価が上昇している。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・施設利用者は、3か月前の平成18年1月は前年同月比で111.7%、今月は4月24日現在で116.7%、これからすると沖縄への入域客数も前年同月比で大幅増になる。一般団体、主に中学の修学旅行、家族連れなどが目立つ。
		住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・展示場、完成見学会等の来場客数が増加している。来場客の約6割が土地を持っていない層であるが、土地も含めて積極的に検討している客が確実に増えている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	変わらない	百貨店（担当者）	来客数の動き	・気温が例年よりも低下し若干衣料の動向が鈍っているが、依然として食品、住居用品関連が好調を維持している。衣料は来客数では前年割れとなるが、客単価では前年を越え、合計では前年同月比で1.1%の増加である。食品は来客数においても好調を維持し、前年同月比3.0%の増加である。月を通して若干気温、天候の影響を受けるが、食品、住居にけん引され全館にて最終的に前年同月比4.0～5.0%増で落ち着く見込みである。
		コンビニ（経営者）	単価の動き	・客単価は去年と同じであり、前年並みを目指して努力している。1品でも多く客に買ってもらうための工夫も考えている。
		コンビニ（エリア担当）	客の様子	・新商品において、お試し期間中の特価では好調に動くが、通常価格に戻ると止まる。特価のような目玉商品で売上の底上げを狙うが、単価の低下を補う販売数には達しない。
		家電量販店（従業員）	客の様子	・ここ3か月の客の買物を見ていると、高くても内容の良い商品を選ぶ客と、とにかく安い商品を選ぶ客に二極化し始めている。前者は経済的な余裕を感じるが、後者は経済的にほとんど余裕がない感じすら覚える。より高級な店に向かう客と、購入できない客に分かれていることも考えられる。
		その他専門店〔楽器〕（経営者）	販売量の動き	・観光客は多いが、地元客が商店街から郊外の大型ショッピングセンターや新都心新商業地域に確実に移行している。
		その他のサービス〔レンタカー〕（営業担当）	来客数の動き	・観光客の入込状況が、2月、3月と好調に推移していたが、4月に入ってから多少落ち着いた感がある。
企業動向関連	やや悪くなっている			
	悪くなっている			
	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	輸送業（営業・運営担当）	受注量や販売量の動き	・大手量販店の売上増大により受注量は増加しているが、一方では、一般店の売上減による受注量減少もみられる。総合的にはやや増加傾向にある。
	変わらない	通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・提携企業の合併に伴う企業間調整が長引き、出し控えをしているのか具体的な案件引き合いが減少している。一方、超高速回線の引き合いが複数出てきている。件数では前月並みである。
		不動産業（従業員）	受注量や販売量の動き	・客の動きが例年どおりである。
やや悪くなっている				
悪くなっている	食料品生産業（財務総務担当）	それ以外	・原料肉価格や原油高による資材価格の高騰、及び円安の定着による仕入商品の高騰の影響を受けている。その反面、売価は据置きである。	
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	学校〔専門学校〕（就職担当）	採用者数の動き	・県外、県内企業の求人数は増加傾向にあり、その結果、採用内定者数も増加傾向にある。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・最近の傾向で特定職種は相変わらず求人・派遣依頼が続いているが、それ以外は目立った変化は無い。求職者は若干増えている。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	求人数の動き	・全体的に求人数が伸び悩んでいる。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・3月現在では、12月と比較すると新規求人数は51.5%増の4,263人である。一般求人は41.5%増で3,288人（構成比77.1%）である。パート求人は99.1%増の975人（構成比22.9%）である。3月の新規求人は飲食・宿泊、不動産、卸売・小売、医療・福祉、情報通信、運輸、サービスの分野で増加し、金融・保険の分野では減少している。有効求人倍率は0.08ポイント上昇し0.60倍である。月間有効求人数は25.2%増加の11,303人である。保育所の民間委託、新年度の契約切替えにより保育士の求人が増えつつある。一方で、業務縮小により100人以上の転籍を行った企業もある。
	やや悪くなっている	-	-	-
	悪くなっている	-	-	-